

第3部 環境保全に関する 各主体の取組

第1節 市町村の取組

1 市町村の役割

環境の保全に関する施策の推進に当たって市町村の果たす役割は重要なものとなっている。このため、環境基本条例では、市町村の責務として「良好な環境の保全及び創造に関し、当該市町村の区域の自然的社会的条件に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する」と規定されている。このことを受けて宮城県環境基本計画においては、市町村の役割として、地域特性を踏まえた独自の環境保全施策の推進、環境教育の推進、事業者・消費者の立場での環境保全活動の率先実行などを提示しており、国・県に準じた施策や独自の施策を各主体と連携・協力して積極的に推進することが期待されている。

2 環境関連条例・計画の制定・策定

(1) 環境基本条例の制定

環境基本条例は、公害の防止や自然環境の保全など個別分野のみを対象とするのではなく、良好な環境の保全や創造に関する施策等について市町村の基本的姿勢を示すものである。県内では、平成7年9月に白石市が制定したのをはじめ、仙台市、石巻市、塩竈市など計14市町において制定されている（表3-1-1）。

表3-1-1 市町村環境基本条例制定状況

市町村名	条 例 名	公布年月日	施行年月日
白 石 市	白石市環境基本条例	平成7年9月29日	平成7年9月29日
古 川 市	古川市環境基本条例	平成8年3月1日	平成8年3月1日
仙 台 市	仙台市環境基本条例	平成8年3月19日	平成8年4月1日
石 巻 市	石巻市環境基本条例	平成9年3月25日	平成9年4月1日
角 田 市	角田市環境基本条例	平成10年3月26日	平成10年4月1日
多 賀 城 市	多賀城市環境基本条例	平成11年2月24日	平成11年4月1日
名 取 市	名取市環境基本条例	平成11年3月11日	平成11年4月1日
塩 竈 市	塩竈市環境基本条例	平成12年6月22日	平成12年6月22日
柴 田 町	柴田町環境基本条例	平成13年12月25日	平成14年1月1日
気 仙 沼 市	気仙沼市環境基本条例	平成14年3月27日	平成14年4月1日
鶯 沢 町	鶯沢町環境基本条例	平成14年10月1日	平成14年10月1日
高 清 水 町	高清水町環境保全条例	平成14年12月18日	平成14年12月18日
志 津 川 町	志津川町環境基本条例	平成15年3月18日	平成15年4月1日
大 和 町	大和町環境基本条例	平成15年3月26日	平成15年4月1日

(2) 公害防止条例の制定

公害防止条例は、市町村において、各公害規制法を補完するなど公害防止施策の総合的な推進を図ること、その市町村の区域の自然的社会的条件に応じた特定の公害を防止することなどを目的とするものである。県内では、仙台市、気仙沼市、鹿島台町、本吉町において制定されている（表3-1-2）。

表3-1-2 市町村公害防止条例制定状況

市町村名	条 例 名	制定（改正）年月日
鹿 島 台 町	鹿島台町公害防止条例	昭和50年3月27日
本 吉 町	本吉町公害防止条例	昭和62年4月1日
仙 台 市	仙台市公害防止条例	平成8年3月19日
気 仙 沼 市	気仙沼市公害防止条例	平成14年3月27日

注：網掛けは改正年月日

(3) 総合的な地域環境計画の策定

総合的な地域環境計画は、市町村の環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、環境の保全に関する総合的かつ長期的な施策の大綱等を定めるものである。県内では、平成9年3月に仙台市が「杜の都環境プランー仙台市環境基本計画ー」を策定したほか8市2町において策定されている（表3-1-3）。

表3-1-3 市町村地域環境計画策定状況

市町村名	計 画 名	策定年月日
仙 台 市	仙台市環境基本計画（杜の都環境プラン）	平成9年3月24日
古 川 市	古川市環境基本計画	平成10年3月31日
白 石 市	白石市環境基本計画	平成11年3月31日
角 田 市	角田市環境基本計画	平成12年2月10日
多 賀 城 市	多賀城市環境基本計画	平成12年10月30日
石 巻 市	石巻市環境基本計画	平成13年2月9日
柴 田 町	柴田町環境基本計画	平成14年4月1日
塩 竈 市	塩竈市環境基本計画	平成14年10月3日
名 取 市	名取市環境基本計画	平成15年3月31日
大 和 町	大和町環境基本計画	平成15年3月31日

(4) 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく実行計画の策定

「地球温暖化対策の推進に関する法律」第8条に基づき、市町村自らの事務事業に伴う温室効果ガス排出抑制対策を行う実行計画については、7市6町1村において実行計画が策定されている（表3-1-4）。

表3-1-4 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく実行計画策定状況

市町村名	計 画 名	策定（改正）年月日
気 仙 沼 市	市の地球温暖化防止に向けた率先行動計画	平成10年2月28日
志 津 川 町	地球温暖化に関する実行計画	平成12年4月1日
石 巻 市	石巻市環境保全率先行動計画（第Ⅱ期）	平成12年5月9日
富 谷 町	富谷町有公共施設地球温暖化対策実行計画	平成13年3月1日
大 衡 村	大衡村有公共施設地球温暖化対策推進実行計画	平成13年3月26日
古 川 市	地球温暖化防止に関する古川市役所率先実行計画	平成13年3月30日
色 麻 町	色麻町地球温暖化対策推進実行計画	平成13年5月30日
大 和 町	大和町公共施設地球温暖化対策推進計画	平成14年3月31日
名 取 市	名取市温室効果ガスの排出抑制等のための実行計画	平成14年4月1日
多 賀 城 市	多賀城市地球温暖化防止計画	平成14年4月15日
大 郷 町	大郷町有公共施設 地球温暖化対策推進実行計画	平成14年5月
仙 台 市	仙台市地球温暖化対策実行計画	平成14年5月13日
白 石 市	白石市地球温暖化防止実行計画	平成15年3月31日
米 山 町	米山町地球温暖化対策実行計画	平成15年4月1日

注：網掛けは改正年月日

3 自然環境の保全・創造に向けた取組

自然環境の保全・創造に向けた市町村の取組としては、住民や民間団体が行う樹木の植栽や花壇づくりに対して、助成などの支援を行っているところが比較的多い。また、緑を保全する上で重要な施策である保存樹・保存樹林の指定については、4市4町で独自の制度を設けており、開発等に対する抜本的な保全施策である土地の公有地化については、仙台市において、「杜の都の環境をつくる条例」に基づく保存緑地を指定し、百年の杜づくり推進基金により順次買い取りを行っている（表3-1-5、3-1-6、3-1-7）。

表3-1-5 樹木の植栽、花壇づくり等の事業及び支援制度

市町村名	制度等の名称	制度等の概要
仙 台 市	生垣づくり助成	個人や事業所で行う生垣づくりや生垣づくりのためのブロック塀の撤去費用を助成（生垣5m以上、苗木の高さ1m以上、1mに2本以上植栽）
	花壇づくり助成	町内会、老人クラブ、子供会等が地域活動として花壇をつくり、維持管理する費用を助成
	緑化木植栽助成	公共的な場所に町内会、PTA等の団体が自らの労力で植栽する植栽材料費を助成
	新築記念苗木交付	前年1月～12月に、戸建住宅を新築または購入し、住居している個人に苗木を3月にプレゼント
	人生記念樹交付	人生の節目となる誕生、小学校入学、結婚、金婚、銀婚、還暦、喜寿、米寿の記念として記念樹を交付
	花いっぱいまちづくり助成	商店街が、道路や広場等に設置する花壇やプランターの設置・管理費を助成
	保存樹木等管理費助成	保存樹木・保存樹木の枯損防止や非常災害の応急措置の費用を助成
	建築物等緑化助成	建築物の屋上、ベランダ、壁面等の緑化費用を助成。（屋上、ベランダを3㎡以上緑化、プランターは容積50リットル以上、壁面はつる性植物の植栽延長が3m以上で1m当たり3本以上植栽）
	公開空地緑化整備助成	建築基準法の総合設計制度による公開空地の緑化整備費用を助成。公開空地内の緑地の30%以上を高木（樹高3m以上）植栽、公道に面する緑地には高木を主体に植栽
	花いっぱいまちづくり事業	花による「都市と自然との融和」をテーマに都市にふさわしい修景、それを取り囲む自然との連続的な展開を図り、それぞれの地域や場所に合った草花や花木による修景を行うものとして、公園及び沿道への花壇、プランター等の設置を行う
石 巻 市	石巻市21世紀の田園文化創造基金条例	石巻市21世紀の田園文化創造基金の運用益をふるさと水と土指導員による「石巻緑のハイキングロード」の整備活動に対して、資材等を支給している。
	花いっぱい運動	緑豊かな美しいまちづくりを推進するため、毎年各団体に対し、市が花の苗木を配布している。
	石巻市企業誘致条例による緑化推進助成金	敷地面積3,000㎡以上の指定企業者が、営業開始日から5年以内に当該敷地面積の10%以上を緑化した場合に、1回に限り緑化に要した経費の30%（500万円が限度）を緑化推進助成金として交付する。
塩 竈 市	塩釜市花いっぱいまちづくりの助成交付要領	住民参加による、緑ゆたかな花いっぱいのまちづくり推進と、都市緑化の向上を目的とする花木植栽事業に要する経費について、当該事業を行おうとする市内の団体に対し、予算の範囲内において助成を行う。
古 川 市	農村景観形成事業	農村景観に潤いを与え、安全安心な米づくりをPRし、地域のイメージアップを図る。
	古川市民憲章推進協議会 花いっぱい運動助成	各行成区、町内会、地域団体が行う花いっぱい運動に対し、花代、肥料代、プランター代等の経費の1/2助成（上限3万円）の支援を行う。
気 仙 沼 市	未利用農地活用事業、景観形成作物園設置管理事業（農林課）	遊休未利用農地解消の一環として、観光名所である小田の浜海水浴場付近に景観作物を植栽し、景観と自然環境の保全を図る。
	気仙沼市森林の基金事業（農林課）	森林の環境を保全・活用し、活力と魅力ある森林づくりを推進するため、市民が行う調査研究・普及啓発に関する事業、森林の公益性充実のための事業、森林空間の整備事業等への補助を行う。
	気仙沼市民憲章推進協議会花いっぱい運動（企画政策課）	市民憲章の推進と実践のため、市内一円に花を植栽し、花と緑の美しいまちづくりを行う。

市町村名	制度等の名称	制度等の概要
	気仙沼市企業立地奨励条例による緑化推進補助金（商工課）	1. 新たに事業所用地を取得し、3年以内に事業所の建設に着手したもの 2. 取得面積が3,000㎡以上であること 3. 取得後5年以内に取得面積の10%以上の緑化を行ったものに対し、緑化に要した経費に100分の30を乗じて得た額（限度額200万円）を補助。
	地域緑化支援事業（緑化推進協議会（都市計画課））	緑の募金、家庭募金による交付金をもとに、自治会、商店街が行う花壇づくり、花の植栽等の活動に対して助成。
	花のみち45植栽整備事業（都市計画課）	国道45号線気仙沼バイパスの未供用地を利用して花壇を整備し、住民の協力を得て花の植栽を行う。
角 田 市	21世紀の花木「つばき」普及推進事業	つばきを市の「21世紀の花木」として制定し、花であふれる美しいまち角田をアピールするため、つばきを公園や街路樹として植栽したり、転入世帯や新築、増改築家屋の世帯（希望者）に苗木を配布する。
多 賀 城 市	多賀城市花のまちづくり事業補助金交付要綱	緑豊かな花のあるまちづくりを推進し、都市緑化の向上を目的とするため、市内の団体に対し、花き植栽事業に要する経費の一部を助成する。
	多賀城市生垣づくり事業補助金交付要綱	緑豊かなまちづくりを推進するために、都市緑化の向上に寄与することを目的とする民有地等における生垣づくり事業について、補助金を交付し、その事業を支援する。
岩 沼 市	花や木のまちづくり対策推進事業	市民が主役となった、花とみどりのまちづくりに対する支援制度。ボランティアに対し花苗の配布を行う。
蔵 王 町	花いっぱい運動フラワーロード蔵王町	道路路肩、緑地帯にサルビア、マリーゴールドの植栽。プランターにはサルビア、マリーゴールド、ペゴニア、アゲラタム等の植栽をする。
村 田 町	花いっぱい運動	各行政区、地域団体、公共施設等が植栽する花、肥料、プランター等を支援。
川 崎 町	花いっぱい運動	・年2回、全世帯に花苗を配布 ・公所・学校等の花壇用花苗配布 ・団体・有志による主要道路脇の花壇の植栽と管理
丸 森 町	花いっぱい運動	花木を植える会、各地区保勝会等に対し、花の苗等の配布を行い公共施設や道端に植栽。
利 府 町	花いっぱい運動	町内25行政区に対して花の苗を無料配布。
大 和 町	花いっぱい運動	大和I C前・大和警察署前花壇及び大和町シンボルタワー敷地内に花を植栽するもの。
富 谷 町	富谷町緑化推進委員会緑化事業	幼稚園、小中学校の施設に植樹
	21世紀の田園文化創造基金事業	各行政区に対して花の苗を配布。
大 衡 村	花いっぱい運動	地区集会所、バス停留所、道路脇花壇づくり・花代等支援。
松 山 町	花いっぱい運動	町内主要道路沿いに町花コスモスの植栽。
三 本 木 町	花いっぱい運動	年2回、老人会のボランティアにより公共施設敷地等に花の苗を植栽。
鳴 子 町	「緑の基金」緑化推進助成事業	各地区の植栽活動に対し、助成を行う。
小 牛 田 町	「小牛田町美しい町づくり推進条例」に基づく植栽	小牛田町老人クラブ連合会による県道沿い花壇の植栽事業に苗を支給
南 郷 町	花いっぱい運動	南郷町老人クラブ連合会による町内の花壇等の植栽に対し、種代、花代、肥料代を支援。
築 館 町	花いっぱい運動	役場職員で実施委員会を組織し、国道の緑地帯、役場前のプランター、モニュメント花壇に植栽する。

市町村名	制度等の名称	制度等の概要
若 柳 町	花いっぱい運動	行政区内の公共施設等への植栽をする、花苗を配布する。
栗 駒 町	花いっぱい運動	各行政区より花の苗を希望により斡旋。指定育成団体に対しては費用の一部を助成。
一 迫 町	花と緑のまち推進事業	公的施設の庭や行政区に道端、各家庭などに花を植栽、育成管理。
瀬 峰 町	花いっぱい運動	各行政区に年1回花の苗を無料配布し、行政区内の花壇に植栽管理。
鶯 沢 町	花いっぱい運動	町内公共施設等、幹線道路沿いの緑化運動
	コミュニティー緑化推進事業	平成13年度に細倉マインパーク内に整備した芝桜・松葉菊等の緑化スペースの維持管理
志 波 姫 町	花いっぱい運動	地区公民館等に花壇等の設置、花代、肥料代を助成。
花 山 村	花いっぱい運動	各地区に、サルビア・マリーゴールドの苗を配布し、地区住民が協力して公共施設等に植栽。
迫 町	花いっぱい運動	各行政区に対して花の苗を無料配布。
豊 里 町	花いっぱい運動	行政区花壇、毎戸へ苗を無料配布。
米 山 町	米山町花いっぱい運動事業	町内主要路線沿道及び緑地帯、花壇や、各行政区の老人会、婦人会、ボランティアなどにより、地区ごとに花を植栽し、潤いのある町づくりを推進する。
石 越 町	花いっぱい運動	地区子供会や老人会などに花苗、肥料を配布
南 方 町	花いっぱい運動	花や緑の育成を通じて、思いやりの心を育て、明るい社会づくりに向けて美しい町づくりをめざす。 (主催) すばらしい南方を創る協議会、南方町社会を明るくする運動実施委員会、南方町青少年健全育成町民会議 (共催) 南方町公衆衛生組合連合会他
河 北 町	花いっぱい運動	国道、県道、町道沿い、公共施設、集会所周辺の花壇づくりに対し、花の苗を無償で提供する。
矢 本 町	花の里普及事業	町内の社会教育施設、公共施設並びに国道45号線沿線及び幹線道路沿いに町花サルビアを植栽管理。
桃 生 町	花いっぱい運動	町内の道路沿いの花壇に、地域の各種団体へ花苗、肥料を配布し、植栽を実施。
鳴 瀬 町	花いっぱい運動（フラワーロード）	町内の花壇等、各所に植栽。
北 上 町	花いっぱい運動	花苗2,200本を購入し、公共施設、公共の場、道路等に各種団体及び住民により植栽を実施。
志 津 川 町	ブナ林育成事業	水源涵養や森林の広域的機能を高め、生活環境及び志津川湾の環境保全を図る。
	花ロマンまちづくり推進事業	主要道路緑地帯への花の植栽、町内公共施設への花の苗配布。
津 山 町	花いっぱい運動	国道等の緑地帯や地域公園、花壇に花苗を植栽。
本 吉 町	集落振興事業花壇設置補助金制度	花壇設置した行政区振興会に対する補助。
唐 桑 町	観光地緑化清掃運動	観光地の美化に努める。
	唐桑町緑化清掃運動	緑化運動を幅広く展開することにより、緑化の推進と緑化思想の高揚を図り、豊かな緑と水に恵まれた生活環境をつくる。
歌 津 町	つつじ記念植樹	歌津中学校みどりの少年団が、緑化活動の一環として、町花である「つつじ」を植樹するもの。
	花いっぱい運動	歌津町新町民生活運動協議会（会長：町長）が国道花壇に花を植栽し、町の環境美化に努める。

(※) 中新田町・小野田町・宮崎町は、平成15年4月1日から合併により加美町となった。

表3-1-6 保存樹・保存樹林の指定に関する制度

市町村名	制度等の名称	制度等の概要
仙 台 市	「杜の都の環境をつくる条例」に基づく保存樹木・保存樹林	地域の美観風致を維持するため、保存することが必要な樹木等を指定し、保全を図る。
石 巻 市	石巻市文化財保護条例による市指定史跡名勝天然記念物の指定	市の区域内に存する文化財のうち、市にとって重要なものについて保存及び活用が必要であると認めるときは、市指定史跡名勝天然記念物に指定することができる。
白 石 市	白石市不伐の森条例	優れた自然環境を市民の永久財産として将来の世代へ継承することによって、森林愛護思想の高揚を図り、緑豊かなまちづくりに資する。
多 賀 城 市	多賀城市保存樹木所有者等報償金	平成9年度より多賀城市樹木の保存に関する要綱において指定された保存樹木の所有者に対し、常日頃の保全協力の一環として、1件につき10,000円の報償金を交付する。
涌 谷 町	涌谷町文化財保護条例による名勝天然記念物の指定	町の区域内に存する文化財のうち、町にとって重要なものについて保存及び活用が必要であると認めるとき、町指定名勝天然記念物に指定することができる。
鶯 沢 町	「鶯沢町文化財保護条例」に基づく史跡名勝天然記念物の指定	記念物のうち町にとって重要なものを町指定天然記念物に指定するもの。
志津川町	志津川町正鶴の森条例	豊かな緑を町民の財産として保存し、緑の大切さを広く提唱するとともに、自然環境を将来に継承するため「不伐の森」「二世紀の森」「一世紀の森」等を設定保存する。
	志津川の「名木」指定	志津川の名木・巨木で地域の自然保護と景観のため必要な樹木を保存する。
津 山 町	津山町文化財指定基準	名勝の中の学術的価値の高い樹木、樹林、天然記念物の植物の中で名木、巨木、老樹等について保存樹、保存樹林に指定。

表3-1-7 土地の公有地化に関する制度

市町村名	制度等の名称	制度等の概要
仙 台 市	「杜の都の環境をつくる条例」に基づく保存緑地	市街地周辺に残された民有地の緑を主体に、土地保有者の理解と協力を得て保存緑地を指定し、保全を図る。さらにこの保存緑地については、より良好な緑地として保全するため、緑地保全協定を締結した保存緑地に係る固定資産税、都市計画税などを免除するとともに、保存緑地指定交付金等交付要綱に基づき、協定を締結した土地所有者に対して、保存緑地交付金（10円/㎡）及び保存緑地保全協力援助金（30円/㎡）を交付している。

4 環境負荷の低減に向けた取組

国際標準化機構が定めた環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得し、市町村自らの事務事業における環境負荷の低減と環境保全・創造のための施策を積極的に推進する取組が行われている。平成15年3月31日現在で認証を取得している市町村は表3-1-8のとおりである。

また、市町村においては、各家庭や地域ぐるみでの環境負荷の低減に向けた活動に対して、助成などの支援措置が講じられている。各家庭での活動の支援としては、生ごみの堆肥化容器の購入等に対する助成が9市34町2村で行われるなど、ごみの資源化に向けた活動への支援が多くの市町村で実施されている（表3-1-9）。

地域ぐるみでの活動の支援としては、空き缶、空きビンなどの資源ごみ回収した団体等に対して、回収量に応じた奨励金等を交付する集団資源回収に対する支援制度や、不法投棄防止パトロール等の不法投棄防止の取組も実施されている（表3-1-10、3-1-11）。

表3-1-8 市町村におけるISO14001認証取得状況

市町村名	取得（予定）年月日	対象組織	対象事務事業
仙 台 市	平成11年9月29日	本庁舎、北庁舎、5区役所、2総合支所の計9庁舎に所在する組織	対象組織の事務事業
白 石 市	平成14年2月27日	小学校を除く56実行部門	事務全般
多 賀 城 市	平成14年2月27日	本庁舎及び出先機関（一部を除く）	環境保全に資する項目及び環境負荷をあたえる項目

表3-1-9 各家庭の環境負荷の低減に向けた活動への支援制度等

市町村名	制度等の名称	制度等の概要
仙 台 市	家庭用電気式生ごみ処理器購入費補助	一般家庭から排出される生ごみの減量及び堆肥化による有効利用を促進し、ごみの減量、リサイクルに対する市民意識の高揚を図ることを目的として、購入費用を補助する。
	生ごみ堆肥化容器購入費補助	一般家庭から排出される生ごみの減量及び堆肥化による有効利用を促進し、ごみの減量、リサイクルに対する市民意識の高揚を図ることを目的として、購入費用を補助する。
石 巻 市	石巻市発酵容器購入費補助制度	一般家庭で排出される生ごみの減量化対策として、EMボカシと発酵容器により、生ごみの自家再生利用の促進及び減量意識の高揚を図るため、発酵容器2個購入した場合、その1個分を補助するものである。
	石巻市家庭用電気式生ごみ処理機購入費補助制度	家庭から排出される生ごみの減量又は、堆肥化等による有効利用を図るとともに、市民のごみの減量化及び資源化に対する意識の高揚を図ることを目的とし、家庭用電気式生ごみ処理機を購入しようとする者に対し、購入費の1/2（上限額25,000円）の額を補助するものである。
塩 竈 市	塩竈市生ごみ減量容器購入補助金交付制度	市民による生ごみの堆肥化処理を推進し、収集ごみ量の減量及び減量意識の高揚を図るため、生ごみ減量容器の普及について必要な補助を行う。
	浦戸地区浄化槽汚泥運搬費補助金制度	公共用水域の水質保全を図るため、離島の浦戸地区（下水道の処理区域外）において合併処理浄化槽を使用管理している者が維持管理に要した費用の一部を補助する。
古 川 市	生ごみ処理容器設置奨励事業	家庭から排出される生ごみの減量化及び堆肥化による有効利用を促進するため、生ごみ処理容器を購入する者に対し、購入費用の一部を助成。
	電気式生ごみ処理機奨励事業	家庭から排出される生ごみの減量化及び堆肥化による有効利用を促進するため、電気式生ごみ処理機を購入するものに対し、購入費用の一部を助成。
気仙沼市	生ごみ堆肥化容器等購入補助事業	一般家庭から排出される生ごみの減量化及び堆肥化による有効利用を促進するため、生ごみ堆肥化容器等の購入に要する経費の一部を補助。
名 取 市	生ごみ堆肥化容器購入費補助金交付事業	家庭から排出される生ごみの減量及び堆肥化による有効利用を促進するため、生ごみ堆肥化容器を購入しようとする者に対し、購入費の一部を補助。
角 田 市	生ごみ堆肥化容器等購入費補助金交付事業	生ごみ堆肥化容器（EMボカシ用容器）と電気式生ごみ処理機購入世帯に補助金を交付する。
	合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付事業	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、公共水道事業計画区域と農村集落排水施設区域以外の地域において、合併処理浄化槽を設置する者に補助金を交付する。
多賀城市	生ごみ処理容器等購入費補助金交付制度	家庭等から排出される生ごみの自家処理を促進し、ごみ減量の推進と普及を図るため、生ごみ処理容器等を購入する市民に対し、補助金を交付している。
岩 沼 市	生ごみ処理容器等購入費補助金	家庭から排出される生ごみの減量化促進のため、生ごみ処理器（コンポスト）または電気式生ごみ処理機の購入者に対して、購入金額の一部を補助。補助額は、購入金額の1/2で、生ごみ処理容器については1基につき3,000円、電気式については、1基につき30,000円を限度とする（生ごみ処理容器のみ1世帯2基まで補助）。
蔵 王 町	生ごみ処理容器設置事業	家庭の生ごみを堆肥化しごみの減量化を促進するため、生ごみ処理装置の斡旋及び補助金を交付する。
七ヶ宿町	生ごみ処理容器購入費補助金交付事業	家庭から排出されるごみの減量化の一環として、生ごみ処理容器購入者に対し、補助金を交付する。
大河原町	生ごみ処理容器補助事業	コンポスト、EM容器など生ごみ処理容器購入者に対して補助。
村 田 町	村田町生ごみ処理器設置奨励事業	家庭排出生ゴミの減量及び堆肥化資源利用を目的とし、処理器購入費補助を行い、普及促進を図る。
柴 田 町	柴田町生ゴミ処理容器設置補助事業	一般家庭から排出される生ごみを有効利用し、ごみの減量化を図るため、EM式堆肥化容器及び電気式生ゴミ処理機購入者に対し補助金を交付。
川 崎 町	生ごみ堆肥化容器補助事業	生ごみを堆肥化して資源化を図る。生ごみ処理容器購入者に対し補助金を交付。
	空き缶回収事業	空き缶回収機「くうかん鳥」によりを設置し、空き缶の散乱防止、資源化を図り、環境美化の推進を図る。1缶投入ごとに補助券を交付し、30枚で20円として町商工会加盟店で使えるようにしている。
丸 森 町	生ごみ処理機等購入費補助事業	一般家庭から排出される生ごみの減量及び堆肥化による有効利用を図ることを目的に、処理機等を購入した住民へ費用の一部を補助。
	住宅用太陽光発電システム導入助成事業	地球温暖化などの環境問題やエネルギー問題を、地域として取り組み水と緑の豊かな自然を生かした環境にやさしい町づくりをすすめるために、住宅に設置する太陽光発電設備について費用の一部を補助。
亘 理 町	亘理町生ごみ処理容器購入補助金制度	一般家庭から排出される生ごみの減量及び堆肥化としての資源化による再利用を図ることを目的として、処理容器等を購入及び設置する町住民に費用の一部を補助する。
	リサイクル情報バンク	町内の一般家庭において不要となった生活用品等の情報収集を行い、これを町民に紹介しその活用を図ることにより、資源の節約及び町民の消費生活の合理化に努め、ごみの減量化を促進する。
山 元 町	山元町生ごみ処理容器設置推進事業	一般家庭から排出される生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化推進と普及を図るため、山元町公衆衛生組合連合会が行う生ごみ処理容器共同購入事業に要する経費について補助金を交付。
七ヶ浜町	七ヶ浜町生ごみ処理容器購入補助制度	一世帯に対し3,000円上限の2基まで補助。
利 府 町	利府町生ごみ処理容器等購入費補助事業	一般家庭から排出される生ごみの減量及び堆肥化等を促進するため、屋内設置型生ごみ処理容器及び家庭用電気式生ごみ処理機を購入する住民に対し、その購入費の一部を補助する。

市町村名	制度等の名称	制度等の概要
大和町	家庭用生ごみ処理機購入費補助制度	家庭から排出されるごみの減量化と排出される生ごみを堆肥化することによりごみの有効利用を図るもの。一台につき上限20,000円で半額補助。年間20台。
大郷町	大郷町生ごみ処理機購入補助事業	生ごみ処理機購入に対する補助。
富谷町	富谷町生ごみ処理容器設置及び電気式生ごみ処理機設置奨励補助事業	生ごみの減量化及び堆肥化としての資源化を図るため、町の幹旋する生ごみ処理容器を設置する者及び電気式生ごみ処理機を購入する者に対して補助金を交付。
大衡村	生ごみ処理機購入補助金	生ごみの肥料化によりごみの減量化を図り、資源化をすすめる。処理機購入補助金を交付。
小野田町	生ごみ処理容器購入補助事業	生ごみ処理容器を設置する者に対し補助金を交付。 ○規格 190.230型 ○補助単価 @2,400円/個
三本木町	生ごみ処理容器設置奨励事業	生ごみ処理器（電気式を除く）を設置するものに対し補助金を交付。
涌谷町	生ごみ処理容器購入補助金	生ごみ処理器（電気式含む）を設置するものに対し補助金を交付。
築館町	生ゴミ処理容器（コンポスト）購入補助金	一般家庭から排出される生ゴミの減量化を図るため、生ゴミ処理容器（コンポスト）を購入したのに対し、一部助成を行う。
若柳町	若柳町コンポスト補助事業	生ごみの減量化を図るため、コンポスト購入者に対して補助金を交付し、自家処理による再利用を促進する。1基あたり2,000円の補助。
瀬峰町	合併処理浄化槽維持管理費の補助	公共用水域の水質保全を図るため、下水道の処理区域外において、合併処理浄化槽を使用管理している者が維持管理に要した費用の一部を補助。
鶯沢町	鶯沢町家庭用生ゴミ堆肥化処理容器購入に対する補助金	鶯沢町内の一般家庭に対し、生ごみ堆肥化処理容器の設置を奨励して、排泄者自らがごみの減量化と再資源化を促進し、併せてごみに対する町民の意識の高揚を図るため、容器設置に要する経費の補助を行う。鶯沢町公衆衛生組合連合会を通じ購入を幹旋。
金成町	金成町生ごみ処理器設置補助金	町内の各世帯等から排出される生ごみの自家処理を推進し、収集込みの軽減及び減量意識の高揚を図ることを目的に、生ごみ処理器設置者に対して補助金を交付する。
花山村	生ごみ処理容器購入補助金	家庭ごみ減量化のため、生ごみ処理容器購入に対し補助。
迫町	生ごみ処理容器購入補助制度	コンポスト及び電気式。EMボカン容器購入に対する補助。
登米町	生ごみ処理器購入補助制度	生ごみの処理化並びに減量化を図る。処理器購入者に対し補助金を交付する。
東和町	東和町ごみ集積所収納施設設置補助金制度	町内に指定されているごみ集積所の収納施設を設置する衛星組合に予算の範囲内で交付する。
中田町	生ごみ処理機設置補助制度	生ごみ処理機を設置するものに対し、補助金を交付。
米山町	生ごみ処理容器購入費補助金制度	生ごみの堆肥化等による再利用の促進及び、減量化による総排出量の低減を目的として、各家庭による生ごみ処理機・コンポストの購入に対し補助金を交付するもの。
	合併処理浄化槽維持管理費補助金	下水道の集合処理（計画区域を含む）区域を除く全町域において、合併処理浄化槽を既に設置、適正な維持管理を行っている者に対し補助金を交付し、個別処理の設置を促進する。
石越町	石越町生ごみ処理容器設置補助金交付制度	生ごみの減量化及びごみ減量意識の高揚を図ることを目的として、生ごみ処理容器を設置するものに対して補助金を交付する。
河北町	生ごみ処理容器購入助成	家庭から排出される生ごみの減量化及び堆肥化による有効利用を図るため、町保健衛生連合会で幹旋する処理容器購入者に対し定額の補助金を交付する。
雄勝町	雄勝町生ごみ処理容器普及事業助成金	電気式生ごみ処理機及び簡易式処理容器（コンポスト）購入家庭への補助金交付。
鳴瀬町	生ごみ処理容器購入費補助金	生ごみ処理容器購入に対する補助。
北上町	生ごみ減量化促進事業	生ごみの減量化と堆肥による再利用を促進するため、コンポストと生ごみ処理容器の購入代金について半額助成。
女川町	女川町生ごみ処理器容器設置奨励事業	コンポスト及び電気式生ごみ処理機を購入する世帯及び事業所に対し補助金を交付。
志津川町	ごみ集積施設設置補助事業	快適で良好な生活環境の形成、地域の活性化を図るため、ごみ集積所設置に対し補助金を交付する。
	志津川町生ごみ処理機設置補助事業	家庭用生ごみ処理機購入者に対し補助金を交付する。
本吉町	本吉町生活排水処理実施計画	合併処理浄化槽設置整備の普及、促進
	本吉町公衆衛生活動推進員連絡協議会 生ごみ処理容器設置奨励事業補助要綱	生ごみ処理器（EMバケツ）の購入奨励金交付
	本吉町電動式生ごみ処理機購入補助金交付要綱	電動式生ごみ処理機購入者に対する補助
歌津町	電動式生ごみ処理機、生ごみ容器設置奨励事業	町内各世帯から出される生ごみの減量化、資源化を促進するため、電動式生ごみ処理機及び生ごみ容器を設置した町民に購入補助金を交付する。

（※）中新田町・小野田町・宮崎町は、平成15年4月1日から合併により加美町となった。

表3-1-10 地域ぐるみでの環境負荷の低減に向けた活動への支援制度等

市町村名	制度等の名称	制度等の概要
仙 台 市	仙台市集団資源回収奨励金交付事業	仙台市に集団資源回収の実施団体として登録した団体に対し、体制づくりや育成強化を側面から支援する目的で、昭和50年度から奨励金を交付している。
	クリーン仙台推進員	ごみ減量・リサイクルの推進や地域環境美化などの地域での取組を進めるため、クリーン仙台推進員を委嘱し、地域での活動を支援させる。
	環境施設見学バスの運行	環境についての啓発を図り、ごみ減量・リサイクルの実践活動を促すため、昭和48年度から町内会などの団体を対象に「環境施設を見る会」を開催し、月曜日から金曜日まで専用の見学バスを運行している。

市町村名	制度等の名称	制度等の概要
古 川 市	集団資源回収奨励金交付事業	資源回収を自主的に実施する団体に対し、補助金を交付。補助金 3 円/kg
	環境美化推進員	ごみ減量・リサイクルの推進や地域環境美化などの地域での取組を進めるため、環境美化推進員を委嘱し、地域での活動を支援。
気仙沼市	資源ごみ回収奨励金交付事業	ごみの再利用と減量を促進するため、資源ごみ回収団体に対し、奨励金を交付。
白 石 市	まちをきれいにリサイクル運動報奨金交付要綱	登録した地域組織団体の集団回収に対して報償金を交付。
名 取 市	リサイクル活動推進事業奨励金	地域住民団体が自主的に実施する有効資源回収事業に対し奨励金を交付。
角 田 市	集団資源回収事業奨励金交付事業	ごみの減量化と資源化を図るため、集団資源回収を自主的に実施する団体と回収業者な対して奨励金を交付する。
多賀城市	集団資源回収	平成7年度に資源回収連絡協議会を設立し、活動補助金を交付している。協議会により、加盟団体に資源回収のための情報を提供するとともに資源回収に必要な物品の貸し出し及び活動回数に応じて奨励金を交付している。
岩 沼 市	リサイクル運動奨励金	ごみの減量化、資源化、再利用化対策として、各種団体が回収する資源物に対して補助、1 kgあたり3 円を奨励金として交付している。
蔵 王 町	資源回収事業奨励金	ごみの減量化とリサイクル運動を促進するため、新聞、雑誌、ダンボール、衣類、雑紙等を回収し、その量に応じて各行政区に奨励金を交付する。
	ごみ集積所設置事業	ごみ集積所を設置する行政区に対し補助する。
大河原町	生活用品活用登録事業	一般家庭において遊休となっている生活用品の情報収集を行い、これを町民にお知らせばんを通じて紹介し、その活用を図ることにより、資源の節約及び町民の消費生活の合理化に努める。
	集団資源回収実施団体補助事業	地域組織団体が行う資源の集団回収に対して、予算の範囲内で補助金を交付し、ごみの減量と資源の有効利用を図るとともに地域コミュニティづくりに資する。
柴 田 町	柴田町リサイクル活動奨励金交付事業	町内の地域組織団体が自主的に実践する有価物の集団回収を通じて行うリサイクル活動に対し、奨励金を交付。
亘 理 町	ごみ集積所建設事業補助金	衛生的なごみの集積所を建設し、ごみの飛散を防止すると共に生活環境の保全及び環境美化に努める。
	リサイクル奨励金交付制度	資源ごみの回収を促進し、資源としての再利用可能な物資の回収が団体により行われることを推進するために、実施団体並びに登録業者にリサイクル奨励金を交付する。
利 府 町	利府町リサイクル運動報奨金交付事業	町内の各種団体が再資源の集団回収を通じて行うリサイクル運動に対し、報奨金を交付する。
大 和 町	資源回収実施団体奨励金交付事業	資源の有効活用をすすめるため地域組織や各種団体で行う資源回収活動に対して奨励金を交付するもの。
大 郷 町	廃棄物減量推進員委嘱	一般廃棄物の適正な処理に熱意と識見を有する社会的信望がある者に廃棄物減量等推進員を委嘱し、一般廃棄物の減量のための町の施策への協力その他の活動を行う。
富 谷 町	富谷町集団資源回収奨励金交付事業	家庭の生活ごみの減量化とリサイクルの推進を図るため、資源ごみの回収に取り組む団体に対し、奨励金を交付。
大 衡 村	資源回収奨励金	生活ごみから資源を回収し、減量化とリサイクルを図る。回収した団体に奨励金を交付。
宮 崎 町	資源回収奨励事業	ごみの減量化とリサイクル推進のため、行政区、子ども会等が行う資源回収事業に対し、奨励金を交付する。
三本木町	資源回収奨励事業	各種団体（子供会等）が行う資源回収事業に対し奨励金を交付。
岩出山町	資源ごみ回収事業奨励金制度	資源ごみの回収を目的に組織された団体（親交会・子供会等）に対して、回収した量により奨励金を交付し、廃棄物の再利用とごみの減量化を図る。
鳴 子 町	資源ごみ回収事業奨励金制度	町内各種登録団体（町内会・婦人会・子供会等）が回収した資源ごみの数量により奨励金を交付する。
涌 谷 町	涌谷町資源回収推進報奨金交付制度	再生利用可能な廃棄物「古紙、繊維、金属、ビン類、その他の有価物」の集団回収運動を展開し、実績をあげた地域住民で組織する団体等に対して奨励金を交付。

市町村名	制度等の名称	制度等の概要
田 尻 町	資源ごみ回収奨励金交付制度	資源ごみの集団回収運動を展開した団体に対して、報奨金を交付しごみの減量及び資源の有効利用を図る。
小 牛 田 町	小牛田町資源ごみ回収報奨金交付要綱	町内の地域組織団体み登録を行ってもらい、回収した資源ごみの数量により、報奨金を交付。
築 館 町	一般家庭廃棄物（ゴミ）集積所設置事業補助金交付	一般家庭廃棄物（ゴミ）集積所を設置した単位公衆衛生組合に対して、上限50,000円で3分の1の補助金を交付している。
若 柳 町	若柳町集団資源回収事業	地域団体が自主的に実践する資源ごみの回収活動に対して奨励金を交付している。
	ごみ集積所設置奨励事業	分別収集の円滑化及び町の環境美化を図るため、ごみ集積所を設置した地区に対して補助金を交付する。事業費の3分の2、上限200,000円
瀬 峰 町	ごみ集積所設置整備補助金	分別収集の円滑化及び環境美化を図るため、ごみ集積所の設置、整備に対し費用の一部を助成。
	資源ごみ集団回収奨励金交付制度	各種団体が実施する資源ごみの集団回収に対して奨励金を交付。
鶯 沢 町	牛乳（紙）パック回収再資源化運動	学校給食等における飲料用紙パックの再資源化運動と同取り組みに対する地域住民の参加協力。
迫 町	ごみ集積所設置奨励事業	町内の家庭から排出される一般廃棄物の集積所を設置する行政区に対して補助金を交付。
	資源ごみ回収報奨金制度	家庭から排出される一般廃棄物から資源ごみの回収を計画的に実施した団体に対して報奨金を交付。
東 和 町	地域環境整備報奨金	町内の各衛生組合で実施される地域環境整備事業に対して住民の環境に対する意識の高揚を図る目的で一律10,000円の奨励金を交付する。
中 田 町	資源ごみ回収団体報償金制度	家庭から排出される廃棄物から資源ごみ回収を計画的に実施した団体に対して報奨金を交付。
豊 里 町	ごみ集積所清掃等助成	各集落ごみ集積所清掃及びリサイクル推進に係る経費を町公衆衛生組合連合会を通じて助成。
米 山 町	資源ごみリサイクル活動奨励金制度	各家庭から排出されるごみの減量化及び再資源化の促進のため資源ごみの回収を行う団体に対し奨励金を交付し、リサイクル思想の高揚を図る。
河 北 町	再生資源集団回収報奨金制度	リサイクルの促進とごみの減量化を図るため、町に登録している団体が資源ごみを回収し、資源回収業者に引き渡した場合、回収量に応じ報奨金を交付する。
矢 本 町	廃品回収団体等奨励補助金	資源ごみの集団回収団体と業者に奨励補助金を交付。
雄 勝 町	雄勝町資源回収実施団体報償金	町内の各種団体が実施する資源ごみの集団回収事業に対し、実施団体及び回収業者へ報償金を交付。
桃 生 町	再生資源集団回収報奨金制度	再利用可能な生活廃棄物の集団回収を行った団体とその回収業者に対し、報奨金を交付。
	クリーンキャンペーン	町建設協会に加入している事業者の社員が参加し町内の主要道路沿いの散乱している、空き缶、空き瓶等を一斉除去し、中間処理施設で適正処理を実施。
鳴 瀬 町	廃品回収団体等補助金	資源ごみの集団回収団体と業者に奨励金を交付。
北 上 町	再生資源集団回収報奨金制度	再利用可能な生活廃棄物の集団回収を行った団体とその回収業者に対し、報奨金を交付。
牡 鹿 町	ごみ収納ボックス設置補助	ごみの集積所周辺を清潔にし、快適な生活環境を確保するため、ごみ収納ボックス（オールステンレス製）を集団で設置する場合に、牡鹿町公衆衛生組合を通じて補助を行う。
本 吉 町	本吉町資源ごみリサイクル奨励金交付要綱	廃棄物の再利用を促進し、減量を図るため、資源ごみを集団回収し、資源回収業者に売却した団体に奨励金を交付。
	本吉町ごみ集積施設設置事業補助金交付要綱	ごみ集積施設を設置する行政区に対し設置費用の一部を助成。
唐 桑 町	町内一斉清掃	住み良い生活環境を実現するため、町民の公衆衛生思想の向上に資するとともに環境衛生活動の実現と強化に努める。

（※）中新田町・小野田町・宮崎町は、平成15年4月1日から合併により加美町となった。

表3-1-11 その他の市町村の取組

市町村名	制度等の名称	制度等の概要
仙 台 市	不法投棄巡視員制度	不法投棄の防止及び不法投棄物の適正処理を図るため不法投棄巡視員を委嘱
石 巻 市	不法投棄に関する情報提供に関する覚書 (森林)、協定書(タクシー)、業務委託 契約書(郵便局)	不法投棄のパトロールは市及び委託業者で実施しているが、山林等がバーできない箇所は森 林組合他2から情報提供を受けている。
古 川 市	不法投棄一斉パトロール	不法投棄の予想される河川敷を中心に空陸連携し、パトロールを実施。
白 石 市	白石市水道水源保護条例	水道法の規定に基づき、水道に係る水質の汚濁を防止し、安全で良質な水を確保するため、 その水源を保護するとともに、住民がきれいな水を享受する権利を守り、現在及び将来にわ たって住民の生命及び健康を守る。
	白石市空き缶等の散乱の防止に関する条例 (ボイ捨て条例)	空き缶、吸い殻、ごみ等の散乱の防止について、市、市民等、事業者、土地所有者等の責務 を明らかにするとともに、ごみ等の投棄の禁止などを定めることにより、これらの者が一体 となって市全域の環境美化を推進し、もって快適で良好な生活環境を確保することを目的と する。又、ボイ捨て行為について意識改革を図り、その行為に対する一種のブレーキとして の役割と市の強い決意を示すため、市内全域を罰則の対象として、罰金を科することとし た。
	食品リサイクル施設先進モデル実証事業 (白石市生ゴミ資源化事業所)	食品リサイクル施設の整備に対して、国から補助を受けリサイクルの成果の実証、波及を通 じて循環型社会の構築を図っていく。市内の主な食品関連事業者から排出される食品廃棄物 を収集し、発酵処理することにより、メタンガスを生成し燃焼させることで、電気と熱エネ ルギーとして食品廃棄物をリサイクルする施設を建設するものである。リサイクルにより得 られた電力は処理施設内の電力として利用し、また得られた温水は隣接の給食センター及び 園芸ハウスの熱源として再利用される。
	不法投棄防止パトロール	緊急地域雇用特別対策事業を活用して、不法投棄パトロールを実施する。
岩 沼 市	不法投棄清掃報償金	不法投棄防止のパトロール、清掃などを行っている団体に対し、報償金を交付している。
村 田 町	不法投棄防止パトロール	環境美化指導員・推進員及び緊急地域雇用特別対策事業を活用して、不法投棄防止パトロー ルを実施する。
柴 田 町	柴田町環境指導員設置要綱	ごみの散乱防止並びに不法投棄防止を図るため環境指導員を設置する。
川 崎 町	川崎町環境美化指導員制度	生活環境保全及び公衆衛生の向上とごみの散乱防止並びに不法投棄防止を図ることを目的と する。
	川崎町不法投棄監視連絡員制度	生活環境保全及び公衆衛生の向上と不法投棄の増加が予想されることに伴い、より広範で効 率的な監視体制を確立するため、町民の協力により地域に密着した監視体制の強化を図る。
山 元 町	不法投棄防止パトロール	不法投棄の防止及び環境美化の啓蒙を目的に巡視員により町内全域を巡視。
七 ヶ 浜 町	不法投棄パトロール事業	町内全域をパトロールしながら、散乱ごみを回収した。
	海浜等美化事業	海水浴場や釣り場の清掃
大 和 町	大和町環境美化推進員設置	地域環境美化の促進を図るため設置するもの。
	環境クリーン巡視員設置	町内の快適な環境を保全するため、廃棄物のボイ捨て、不法投棄を防止し、美しい郷土づく りに努めるもの。
大 郷 町	大郷町環境クリーン巡視員委託業務	廃棄物のボイ捨て、不法投棄を防止し、快適な環境を保全するために環境クリーン巡視員が 町内を巡回。
	環境美化推進員	自主的・奉仕活動の促進及び助長、ごみの散乱及び清掃活動状況の調査及び報告等、環境美 化の促進を図る。
宮 崎 町	不法投棄防止パトロール	2名の不法投棄防止員を委嘱。毎月8日間程度林道沿線、河川敷を中心に巡視を行い、不法 投棄の防止、発見に努める。
色 麻 町	不法投棄防止パトロール	3名の不法投棄監視員を委嘱し、不法投棄のパトロールを実施する。
松 山 町	不法投棄防止パトロール	林道・河川敷を環境衛生指導監視員が不法投棄防止パトロールを実施する。
涌 谷 町	不法投棄防止パトロール	町内林道・河川敷を、不法投棄防止監視員(6人)が不法投棄パトロールを実施する。
栗 駒 町	不法投棄防止	不法投棄防止パトロール
瀬 峰 町	不法投棄防止パトロール	生活環境を守るため、パトロール員(2名)が町内全域を不法投棄防止パトロールを実施す る。
鶯 沢 町	不法投棄防止パトロール	不法投棄防止パトロール及び不法投棄防止啓発の実施。
迫 町	環境パトロール	不法投棄、野焼き等、不適切なごみ処理の監視パトロール、野焼きの指導、不法投棄廃棄物 の収集を行う。
中 田 町	不法投棄防止パトロール	環境保全を図るため、環境美化監視員(2名)が町内の不法投棄防止パトロールを実施す る。
米 山 町	郵政外務職員による廃棄物の不法投棄に関 する情報提供	郵政外務職員が当該業務中において廃棄物等の不法投棄を発見又は目撃した場合に、その情 報を町に提供するもの。

市町村名	制度等の名称	制度等の概要
南 方 町	環境パトロール	ごみの分別方法や出し方の徹底を図るとともに、ごみの減量化、リサイクル運動推進について積極的に取り組む。
河 北 町	環境保全巡視パトロール	町内の生活環境を保全しきれいで住み良い町づくりの推進に寄与するため、町保健衛生連合会に委託して環境保全巡視パトロールを実施した。
矢 本 町	不法投棄巡回監視員制度	不法投棄パトロールを実施し、不法投棄物の早期発見と各関係機関との連絡等を行い、環境保全に努める。
桃 生 町	不法投棄防止パトロール	緊急地域雇用特別対策事業を活用して不法投棄防止パトロールを実施するとともに、不法投棄廃棄物の撤去を実施し、環境保全に努める。
北 上 町	環境保全巡視員及び不法投棄廃棄物撤去事業	緊急地域雇用創出特別基金事業を活用して不法投棄防止パトロールを実施するとともに、不法投棄廃棄物の撤去を実施し、環境保全に努める。
牡 鹿 町	ごみ収納ボックス設置補助	ごみ集積所周辺を清潔にし、快適な生活環境を確保するため、ごみ収納ボックス（オールステンレス製）を集団で設置する場合に、牡鹿町公衆衛生組合を通して補助を行う。
津 山 町	環境パトロール事業	住民の生活環境を守るため、不法投棄防止パトロールを行った。
本 吉 町	本吉町公害防止監視員設置規定	公害を未然に防止し、町民の衛生的な生活を確保するために設置する。
唐 桑 町	不法投棄防止パトロール	不法投棄を防止することにより、環境美化を推進し、生活環境を確保する。
歌 津 町	環境美化地区巡回パトロール	「ポイ捨て禁止及び環境美化を推進する条例」の制定を機会に町、行政区長、公衆衛生組合、地区契約会、婦人防災クラブ、PTA、婦人会、産業団体等合同による町内環境美化推進のパトロールを実施し、併せて不法投棄現場等の各種ごみの回収を実施する。

(※) 中新田町・小野田町・宮崎町は、平成15年4月1日から合併により加美町となった。

5 環境保全に関する普及啓発

県民一人ひとりが環境とのかかわりなどについての理解を深め、環境保全活動を行う意欲を促し、その活動を促進するための取組として、市町村においても積極的な普及啓発活動が行われている。

平成14年度には、9市37町1村で環境の日・環境月間におけるイベント等が開催されており、そのほか、各市町で、自然とのふれあい活動などの体験学習、講演会、シンポジウム等が開催されている（表3-1-12）。

また、環境保全に関する知識の普及を目的とした冊子やごみの分別回収に関するリーフレット等が各市町村において作成・配布されている（表3-1-13）。

表3-1-12 環境保全に関するイベント等の開催状況

市町村名	イベント等の名称	内 容	主 催 者	場 所	開催日時等	参加者数等
仙 台 市	全国一斉「ボイ捨てこみ」調査キャンペーン	参加者が「キレイにし隊」「教えてみ隊」「考えてみ隊」の3コースから好きなコースを選び、期間内に好きなときに好きな場所で清掃活動などを行い、その結果をレポートで市に提出する。	仙台市	市内全域	(春) 5月19日～6月9日 (秋) 9月28日～10月24日	(春) 1,881人 (秋) 3,943人
	地球環境サミット仙台フォーラム	「ヨハネスブルク・サミット」について理解を深めるとともに、様々な環境市民活動の報告や討論を通し、サミットに向けた市民の盛り上げを図った。	仙台市、ヨハネスブルク・サミット提言フォーラム	日専連ビープ	6月22日	80人
	市民の川創造事業 仙台天水桶手作り講座	屋根に降った雨水を雨樋から集めて樽に貯め、再利用することで穏やかに川に戻していく「まちの中の小さなダム＝天水桶」のつくり方の講座。	仙台市、仙台リバーズネット梅田川	新川、ニッカウキスキー仙台工場	6月29日	100人(見学者込)
	かんきょうチャレンジコンクール	「かべ新聞部門」「ホームページ部門」「紙芝居部門」の3つの部門に対し、市内の小学生が環境をテーマに作成、チャレンジするもの。	仙台市		募集期間 6月25日～9月30日	190人(小学校14校、60点)
	グリーン購入展示会	環境に配慮した商品、サービスを展示し、市民・事業者へのグリーン購入の普及を図る。	仙台市	仙台市役所1F展示ホール	7月9日～7月19日	メーカー、販売店等19団体
	環境学習ステップアップセミナー	身近な環境から地球環境を体系的に学び、自らのライフスタイルを見直したり、さらに環境活動を行うノウハウを学んだりするセミナー。	仙台市	市民活動サポートセンター他	7月13日他7回	15人
	ごみ・資源物追跡！メビウス号の旅	小学生とその保護者を対象に、環境施設見学バス「メビウス号」で家庭ごみや資源物の処理ルートを見学するほか、ごみ分別の体験を通じて、ごみ減量・リサイクル推進の必要性、具体的なごみの減らし方や分け方・出し方のマナーを学んでいただく。	仙台市	家庭ごみ及び資源物処理施設	7月24日、26日、30日	100人
	エコフェスタ2002	楽しみながら自らのライフスタイルを見直し、ごみの減量やリサイクルへの理解を深めていただくため、様々な企画を実施。仮想店舗「エコエコアート」、生ごみ堆肥作り実践講座、100万人のごみ減量クイズ大会、リサイクルマーケットほか。	仙台市、アムニティ・せんだい推進協議会	勾当台公園市民広場	9月1日	16,000人
	広瀬川ウォッチング	水生生物等の観察を通じて、水や自然の大切さを児童に知ってもらう。	仙台市	広瀬川	9月3日～9月5日	作並小14人 八本松小52人 片平丁小72人
	親子環境ウォッチング	海上保安庁の巡視船による体験クルージングと講話	仙台市	仙台港	10月26日	子供24人、保護者・サポーター22人
	環境フォーラムせんだい2002	「みんなで作る！仙台環境新世紀」というテーマのもとで企画から運営までの全てを市民団体が主体となって実施した。	環境フォーラムせんだい2002実行委員会	アエル(多目的ホール、アトリウム)	11月2日～11月10日	200人
	市民の川創造事業 梅田川お宝マップ発表会	梅田川周辺のお気に入りの場所や良くしたい場所などを盛り込んだ「梅田川お宝マップ」を作成し、そのマップを使いながらの発表会を実施。	仙台市、仙台リバーズネット梅田川	仙台市青年文化センター	11月27日	100人
	サウンドボエム・サウンドイラストコンクール	市民の音に対する感性の開拓と地域の音環境の発掘を目的として、好きな音や心安らぐ音をテーマにした詩「サウンドボエム」と絵「サウンドイラスト」を募集する。入賞作品については、表彰式及び入賞作品展を開催する。	仙台市	アエル	11月13日～19日 表彰式11月16日	応募作品数 320
石 巻 市	環境フェア2002	市民及び事業者に対し、地域の環境問題や地球環境問題に関する知識の普及・啓発を図るため実施している。参加団体は、行政をはじめ、企業、エコクラブ、など18団体であり、紙すき体験、エコグッズの紹介、ゴミ分別クイズ、エコフリーマーケットなどを行った。	石巻市	石巻文化センター	6月2日	約2,400人
	市民清掃	市内全域において、町内会毎に散乱ごみの収集及び除草等、環境整備を行う。	塩竈市	塩竈市内全域	4月21日、6月16日、10月20日	町内会150団体
塩 竈 市	環境パネル展	塩竈市の環境の現状や環境基本計画策定について、課題・必要性などを分かり易くパネル展示し、環境保全に関する啓発を行う。また、塩釜まちづくり研究所環境部会・市民環境懇話会のコーナーを設け、市民組織の環境に関する活動状況をパネルにて紹介し、市民活動への関心を高める。	塩竈市	生涯学習センター「ふれあいエスブ塩竈」	6月18日～23日	開催期間中の施設全体の入場者数 7,531人
	しおがま環境フェスタ2002	テーマ「海・人・循環－未来のために今わたしたちができること－」 催事内容 ○環境パネル展(環境基本計画、塩竈の環境現状、市民環境懇話会関連のパネル16枚を展示。小中学生が描いた「ごみゼロ・リサイクル促進コンクール」に寄せられた作品より6枚を展示。 ○環境シンポジウム	塩竈市	ふれあいエスブ塩竈	12月3日～8日	7,435人(期間内の施設入場者数)

注：網掛けは「環境の日」及び「環境月間」に実施したもの

市町村名	イベント等の名称	内 容	主 催 者	場 所	開催日時等	参加者数等
	環境シンポジウム	テーマ「海・人・循環―未来のために今わたしたちができること―」 催事内容 ○事例紹介（環境基本計画の特徴点説明等、パネラー3名による事例賞） ○パネルディスカッション（コーディネーター、パネラー3名による65分程度のパネルディスカッション）	塩竈市	ふれあいエスプ塩竈ホール	12月7日	121人
古 川 市	市民統一清掃	道路、広場、河川などの公共の場所の不法投棄ごみや散乱ごみの回収や道路側溝汚泥の清掃を行った。	古川市民統一清掃実行委員会	市内一円	4月13日、10月19日	
	環境フェア	シンポジウム、フリーマーケット、環境に関する標語・ポスターコンクール、市民団体コーナー	古川市、三本木町、大崎中央環境組合	古川市総合体育館	10月26日	約6,000人
気仙 沼 市	全市一斉清掃	清潔で住みよいまちづくりをすすめるため、市民及び関係機関・団体の協力を得て「気仙沼市環境美化市民総ぐるみ運動」を推進することを目的とし、市内全域で清掃活動を行った。	気仙沼市	気仙沼市全域	6月2日	市民等6,000人
	新エネルギーパネル展	太陽光・風力発電、コージェネレーション等に関する11のパネルを展示。来場者にクイズ形式のアンケートに答えてもらい、新エネルギーの普及、啓蒙を図った（パネル、アンケート用紙は東北経済産業局より貸借）。	気仙沼市	ワン・デンビル内地域交流センターロビー	6月22日～28日	アンケート回答者101人
	省エネルギー診断	市役所本庁舎のエネルギー利用の効率化を図り、省エネルギーを推進するため、経済産業省の外郭団体である省エネルギーセンターで実施している「省エネルギー診断」を実施した。	気仙沼市	気仙沼市役所本庁舎	6月27日	
	第8回花とみどりのまちづくりの集い	緑豊かな清いといふとあるまちづくりを進めるため、緑化に対する理解と関心を深め、市民による花と緑の美しいまちづくりを推進し、運動の拡大を図ることを目的に実施している。	気仙沼市、教育委員会、市緑化推進協議会、市民憲章推進協議会	気仙沼市民健康管理センター「すこやか」	10月26日	200人
	環境フェア2002	限りある資源の再利用を図るため、市民参加の遊休品のフリーマーケットやリサイクル品の抽選会、ごみに関するクイズ、低公害車の試乗等を通じて、ごみの減量化・再資源化の啓蒙を行う。	気仙沼市		10月20日	800人
白 石 市	白石川河川清掃（白石川クリーン作戦）	薬師橋下流からソーニー工場前までの間のごみ（空き缶、空き瓶、ビニール等）拾いを実施する。また、不法投棄（ボイスタ）禁止看板等を設置する。	白石川漁業協同組合白石支部	白石川（薬師橋下流からソーニー工場前まで）	6月23日	100人
	環境PR（さわやかフェスティバル）	さわやかフェスティバル会場の一角を借り、ごみ分別、ISO14001の意義を展示した。また、来場者にごみ意識調査アンケートを実施した。	白石市	白石市文化体育活動センター	7月13日	全体入場者1,600人 アンケート回答者300人
	集団資源回収	リサイクル団体による資源ごみ回収	市に登録した諸団体	市内全域	年3回実施	68団体
	白石市公衆衛生大会	各地域における公衆衛生思想の啓蒙、保健活動の推進に積極的に取り組まれた方々の表彰並びに今後の組合の活動方針を決定する。	白石市公衆衛生組合連合会	文化体育活動センター（ホワイトキューブ）	11月14日	300人
	市内一斉クリーン作戦	全市民が、一斉に各自自治会内に設置している集積所並びに住居周辺の道路等の清掃を実施する。	白石市・白石市公衆衛生連合会	市内全域	11月18日	6,500人
名 取 市	自然観会「植物」	五社山周辺を散策しながら身近な植物等の観察を行う（4月）。高館山レクリエーション施設周辺を散策しながら身近な植物等の観察を行う（9月）。	名取市自然と地域とのふれあい活動推進委員会、名取市	五社山、高館山レクリエーション施設周辺	4月27日、9月14日	50人（4月） 43人（9月）
	フリーマーケット	市役所前広場、文化会館前等を利用して、リサイクル活動の一環として春と秋に実施する。	名取市ごみ減量等推進協議会、名取市	市役所前広場	5月26日、1月13日	162店舗、9,000人
	関上海岸一斉清掃	市内の関上海岸を地域住民等により一斉に清掃活動を行う。	名取市	関上海岸	6月2日	約700人
	ホテル観察会	市内に生息するホテルを観察することで身近な自然とふれあい、環境保全思想の普及を図る。	名取市、名取市自然と地域とのふれあい活動推進委員会	樽水ダム周辺 他	6月28日	25人
	「ふるさと名取の自然」展	「ふるさと名取の自然」VTR放映、市内に生息する魚類等展示、市内動植物マップ展示。昨年度の写真コンクール入選作品展示。はたし観賞コーナーの設置。	名取市自然と地域とのふれあい活動推進委員会、名取市、名取市教育委員会	市役所（1階ボックステッパリー）	7月8日～12日	約300人
	名取市写真コンクール	「環境の部」「観光の部」の2本立てで実施。「環境の部」では、名取の身近な自然に目を向けた、動物・植物・自然の風景などの写真を展示。	名取市自然と地域とのふれあい活動推進委員会、名取市	名取市文化会館	11月3日	47人、120作品
	環境フェア（名取市ふるさと秋まつりのコーナー）	「環境基本条例」、「環境基本計画」、「地球環境問題」に関するパネル展。環境美化ポスター等作品展示。エコライフ診断。ハイブリット車展示関係、オール電化住宅展示関係。フリーマーケットの開催。	名取市	名取市体育館	11月3日	約10,000人
	自然観察会「野鳥」	名取川河口に群が野鳥の観察を実施する。	名取市自然と地域とのふれあい活動推進委員会、名取市	名取川河口周辺	1月25日	54人
	市内一斉クリーン作戦	春季と秋季に市内全域の道路等周辺の散乱ゴミ（缶・びん等）と側溝等を清掃する。	角田市、角田市公衆衛生組合連合会	市内全域	4月14日、9月15日	10,000人
角 田 市	ごみの分別と出し方講習会	ごみの分別と出し方について講習会を行い、ごみの減量化や再資源化を学ぶ。	角田市内各行政区・地区公民館他	市内全域	年間をとおして25回	984人
	ごみの減量・分別講習会	ごみの減量・分別について懇談会を開催し、ごみの減量化や資源化を学ぶ。	角田市、各婦人団体、公民館、公衆衛生組合	地区公民館等	6月7日・21日・27日・29日	市民165人

注：網掛けは「環境の日」及び「環境月間」に実施したもの

第1節 市町村の取組

市町村名	イベント等の名称	内 容	主 催 者	場 所	開催日時等	参加者数等
	環境意識啓発用冊子	環境教育の教材として作成した冊子を市内小学校3～4年生に配布し、活用してもらう。	角田市	市内小学校9校	6月	小学3～4年生582人
	広報かくだに掲載	6月が環境月間であることを知らせ、環境に対する市民の意識を高めていく。	角田市	広報かくだ6月号	1月6日	
	生ごみ堆肥化容器等購入	生ごみの減量化と堆肥化促進のため、容器と電気式処理機購入のための費用の一部を補助する。	角田市	角田市内全域	一年中	市民
	ごみ処理施設見学体験学習会	市民が角田衛生センターと仙南リサイクルセンターと仙南最終処分場と古紙問屋を見学し、ごみ処理の現状について学習する。	角田市、公衆衛生組合連合会	角田衛生センター・仙南リサイクルセンター・仙南最終処分場・古紙問屋	年間通して14回	市民332人
多賀城市	史都・多賀城花と緑のふれあいまつり	一人ひとりが花と緑のふれあいを通じて都市緑化に対する取り組みや行動を広げ、緑豊かなまちづくりを市民総ぐるみで推進することを目的に開催し、花壇展示、花や緑に関する展示等を行う。	史都多賀城「花と緑」推進協議会、多賀城市	中央公園特設会場	5月26日、26日	20,528人
	第10回史都・多賀城花と緑のふれあいまつり（環境部門）	第10回史都・多賀城花と緑のふれあいまつりに参加する市民に対し、リサイクル推進と環境についてPRするため、環境クイズに答えた方にリサイクル商品や観察用アサガオの配布、ハイブリッド車の展示、風車の基本となるかざぐるまの作成等を行った。	多賀城市	多賀城市中央公園	5月25日・26日	約20,000人
	環境パネル展	ISO14001の認証を取得したことを踏まえ、市民に対し環境配慮行動及びごみ減量の啓発を行い、環境への関心を深めてもらうために実施した。	多賀城市	多賀城市役所ロビー（1階）	6月3日～21日	
	エコチャレンジスクール	これからの次代を担っていく子供たちと共に環境に関する関心を高めることが必要と考えことから、エコ博士と子供たちが一緒に自然を再確認し、環境について身近に感じてもらうことと資源物分別の必要性を周知することを目的として、エコチャレンジスクールを開催する。	多賀城市	各留守家庭児童学級	7月27日、10月2日、12月4日	11名（7／27）、43名（10／2）、28名（12／4）
岩沼市	早朝クリーンいわぬま	環境美化活動の実践運動として、市民が一元となり、市内の道路や公共施設等の清掃活動を実施した。	岩沼市 岩沼市公衆衛生組合連合会	岩沼市内全域	6月2日	3,487人
	海岸清掃	「素足で歩ける砂浜にしよう」を合言葉に、市民の海岸愛護意識の高揚、自然環境保全意識の醸成を目的に、美化清掃活動を実施。	岩沼市	市域内海岸線9.2km	7月20日	1,759人
	環境フェア	ごみの減量化、資源物の分別・回収のPR、相談コーナー、環境美化、自然保護の促進PR（福祉イベントにてコーナー開催）	岩沼市	岩沼市民会館	9月1日	約7,000人
蔵王町	みやぎ蔵王白鳥まつり	①白鳥餌付け、野鳥観察コーナー ②写真コンクール、作品展示コーナー（白鳥を題材） ③里芋とん汁サービスコーナーの設置 ④抽選会 ⑤蔵王町立小学生を対象に図画・毛筆書写コンクール（白鳥を題材）	蔵王町商工会	白石川白鳥河川公園	2月	約2,000人
	クリーン蔵王町デー	町内一斉清掃	蔵王町	町内全域	4月17日、9月28日	約3,000人
七ヶ宿町	町内一斉クリーン運動	各地区自治会を中心に、町内全域の廃棄物の撤去や清掃を実施する。	町 公民館（教育委員会）	町内全域	4月下旬～5月上旬、10月	約800人
大河原町	春の町内一斉清掃	町内の散乱ごみや側溝汚泥等の清掃を行うことで生活環境に対する町民の意識を高める。	大河原町、大河原町公衆衛生組合連合会、大河原町環境美化推進協議会	大河原町内全域	6月2日	約5,599人
村田町	朝の一掃運動	第一日曜日の午前6時から7時まで、各地区民や団体等の参加を得て、除草作業、道路や側溝の清掃作業など町民総ぐるみ運動として実施した。	村田町 村田町環境美化促進会 村田町公衆衛生組合連合会	村田町内全域	4月～11月の第1日曜日	約7,000人
	花いっぱい運動	各地区公共施設等の周辺への花の植樹や、道路歩道へのプランタの設置を、環境美化実践員や各種団体等の協力を得て行った。	村田町 村田町環境美化促進会 村田町公衆衛生組合連合会	学校・幼稚園・公民館・道路歩道	6月1日～30日	約300人
	不法投棄防止巡回	環境美化指導員推進員による不法投棄防止のための町内巡回指導。	村田町	村田町内全域	6月中に20回	のべ20人
	環境週間に関する広報	有線放送や広報車による環境保全に関する意識の高揚を図るための広報。	村田町	村田町内全域	6月中に数回	
柴田町	柴田町環境美化推進協議会総会（環境美化功労者表彰）	町内において多年にわたり、清掃及び緑化等、地域環境美化に関する奉仕活動に努め、その功績が特に顕著な団体又は個人に対し、柴田町環境美化推進協議会総会の場において表彰する。14年度は、17個人、4団体に対して表彰した。	柴田町環境美化推進協議会	柴田町役場	6月26日	約90人
	身近な生きもの調査	町民参加による生物調査を実施し、町の自然を長期的視点で評価するための基礎データを収集する。	柴田町	町内全域	6月から10月まで	町民43人
	柴田町クリーン町民の集い	町内の環境美化に関係する機関、団体、学校等による一斉清掃。	柴田町、柴田町環境美化推進協議会	船岡城址公園	10月4日	約300人
	柴田町環境フェア	町内における環境活動事例等の展示、実演。	柴田町環境フェア実行委員会、柴田町	仙台大学	11月3日	約300人

注：網掛けは「環境の日」及び「環境月間」に実施したもの

市町村名	イベント等の名称	内 容	主 催 者	場 所	開催日時等	参加者数等
川 崎 町	ふれあいかわさき自然塾	自然に親しみながら釜房ダムの上下流の人々との交流を深め、清らかな水と緑の木々の大切さに触れ、環境の保全及び活用について学習する。	川崎町	川崎町「るぼわかわさき」オートキャンプ場付近	7月26日	500人
	清掃奉仕活動	町内各行政区（＝町内各衛生組合）単位で、自分達の居住区の清掃奉仕活動を行う。	川崎町内各行政区	川崎町内各23行政区		
	森林内のゴミ一掃奉仕活動	不法投棄が累増し、「緑と水の源泉」である森林の汚染が進行し極めて憂慮される事態であり、「環境の日」を機会に森林組合を挙げてゴミの一掃奉仕活動を実施した。	川崎町森林組合	川崎町支倉字石塚山作業路 前川字羽根坂山果有林	6月14日	15人
丸 森 町	地区内クリーン活動	地区内の清掃活動を実施。	五区一心会	丸森町字新町地区	4月14日	50人
	地区内クリーン活動	地区内の清掃活動を実施。	交通安全母の会筆甫支部	丸森町筆甫地区	4月28日	80人
	ふるさとボランティア活動	学区内地区の清掃活動を地区毎に実施。	丸森西中学校	阿武隈川	5月13日	76人
	地区内クリーン活動	国道113号沿いの清掃活動。	大内3区青年会	丸森町大内地区113号沿	6月23日	63人
	森林ごみ清掃活動	環境月間に伴い、町内林道沿いの清掃活動を実施。	丸森町森林組合	丸森町小倉字源太郎地内（林道）	6月5日	30人
	ごみ分別講習会	ごみ分別活動の啓発のため、定期的に実施。	丸森町町民課	丸森町全城（地区毎）	随時（23回実施）	939人
	阿武隈川サミット河口クリーンアップ作戦	阿武隈川河口周辺の清掃活動	阿武隈川サミット	亘理町の阿武隈川河口付近	7月6日	11人
	地区内清掃活動	子ども会活動の一環として地区内清掃奉仕作業を実施	中原子ども会	小斉中原地区内	8月17日	20人
	荒野地区ふるさとクリーン作戦	耕野地区内を通る県道沿いの清掃奉仕活動を地区を上げて実施	耕野小PTA、耕野びんとうろーず	県道沿い（越河角田線、川前白石線）	9月28日	50人
	生涯学習推進の町民のつどい	町民のつどいに際し、ごみの減量化やリサイクル等に関する展示を行いPRを行った。	丸森町	丸森町民センター	1月19日	350人
	阿武隈川河川清掃	阿武隈川十字軍を結成し、清掃活動を展開した	阿武隈ライン保勝会	阿武隈川川岸	3月30日	50人
亘 理 町	町民一斉清掃	毎月第一日曜日を「清掃の日」と定め、地区内の散乱ごみ及び側溝等の一斉清掃を行う。	亘理町 亘理町公衆衛生組合連合会	亘理町内全城	6月2日	町内全世帯
	荒浜海岸一斉清掃	仙台湾環境保全地域に指定されている荒浜海岸の自然環境の保全を図るため、地元住民を中心としたボランティアにより清掃を行った。	亘理町	荒浜海岸一帯	7月6日	主に荒浜地区住民1,500人
	阿武隈川クリーン作戦	河川環境も含めて、川への思いやりの心を育てるために散乱ごみの回収を行った。	亘理町、阿武隈川を守る会	阿武隈川河川敷及び堤防	10月下旬～11月上旬	1,500人
山 元 町	クリーンハイキング	快適な町づくりの輪を広げていくため、更には町民の健康づくりを目的に散乱ゴミを拾いながらハイキングを開催。	花釜地区、牛橋地区（牛橋河口）	山元町	5月13日	約50人
	校外クリーン活動	身近な地域の清掃活動を通じて郷土愛を育てる。	山元町立山下第二小学校	山元町笠野海岸	6月14日	約260人
	防風林清掃活動	地域の清掃を通して、郷土愛に親しみを持たせ、自然環境を大切にしようとする気持ちを持たせる。	山元町立中浜小学校	山元町中浜地区防風林	6月3日	約80人
	清掃・草刈活動	行政区内の草刈り及び散乱ごみの清掃活動を実施した。	牛橋・花釜・真庭・山下行政区・サーフィングクラブ、作田山子供会	牛橋・花釜・真庭・山下区内全城、笠野海岸、山下区作田山全城	6月9、16、25、30日	6地区で計約2,000人
	子どもエコクラブ活動	自然に親しむ活動の一環としてサツマイモの苗植えをした。	子どもエコクラブ「はっぱあず」	はっぱあず農園（町内の畑借用）	6月8日	約25人
	快適なまちづくり・リサイクル運動	再生資源の集団回収を実施し、廃棄物の減量化及び資源の有効利用を図る。	作田山子供会、山下第一小学校父母教師会、山下第二小学校	山元町内及び学区内	6月2、9、23日	
	町内一斉清掃	地域住民の環境衛生に対する意識の高揚を図るとともに、住みよい地域環境づくりと環境美化を推進するため、各地区内の町道、農道、県道の不法投棄等による散乱ごみなどの清掃活動を実施する。	山元町、山元町公衆衛生組合連合会	町内全城	11月10日	約1,500人（山元町内全戸）
	海岸漂着ごみクリーン作戦	海岸にある大量の漂着ごみの清掃活動を実施し、私たちの生活に安らぎを潤いを与えてくれる海岸の自然環境保全を図る。	山元町、山元町浜どおり区長会	牛橋海岸・花釜海岸・笠野海岸・新浜海岸	12月8日	790人
松 島 町	町広報	5月中に実施したゴミゼロ運動の結果を掲載した（運動期間5/20～30）。	松島町	松島町内全城	6/1発行	町内全戸配布
	環境美化運動	町から委嘱を受けた環境美化推進委員が町内各地をパトロール。	松島町	松島町内全城	6月中	24人
七ヶ浜町	ごみの出し方	町民に対し、ごみの分別方法等を徹底させるため実施。	七ヶ浜町	七ヶ浜町内	6月1日	
	各種団体の清掃活動	各種団体及び町内学校等で清掃活動を実施。	各種団体及び学校等	七ヶ浜町内	6月中	約1,000人
	買い物用バック無料配布事業	町民に対し、100枚の買い物用バックを無料配布し、ごみの減量に努めた。	七ヶ浜町	七ヶ浜町役場窓口	6月5日	100人
利 府 町	ごみ減量化説明会	町内会や婦人会において、ごみの減量や分別方法に関する説明会を開催し、住民の意識啓発及びごみの排出抑制並びにリサイクルの推進を図る。	町内会 婦人会	利府町内集会所等	6月17日・22日	住民等100人
	町広報誌への掲載	環境の日及び環境月間のPR、ごみ排出量、ごみ排出時における分別方法やリサイクルの推進に関する記事を掲載。	利府町	各戸	6月号（6/1発行）	9,282世帯（全世帯）

注：網掛けは「環境の日」及び「環境月間」に実施したもの

第1節 市町村の取組

市町村名	イベント等の名称	内 容	主 催 者	場 所	開催日時等	参加者数等
	町内清掃	町内各種団体が主体となって、町内の散乱ゴミの清掃を実施した。	行政区、老人クラブ、ボランティア団体等	町内全域	通年	
	ペア・バルふれあいまつり（環境コーナー）	増え続ける町のごみ対策の一環として「ごみ減量」をテーマに県境イベントを実施。	利府町	利府町 町民交流館	7月20日	約6,000人
大 和 町	広報誌による啓発	町の広報紙「広報たわい」に、「環境」について特集掲載し、全住民に環境月間を周知するとともに、環境への問題提起を図った。 タイトル・・・6月は「環境月間」 毎日の生活、見直してみよう！ 小見出し・・・①環境問題を考えよう ②皆で取り組もう！地球温暖化対策 ③ごみを減らそう ④不法投棄は許さない！皆で監視しよう	大和町	全戸配布	発行日6/1	発行部数7,850部
	「臨時粗大ごみ引き取り」の実施	環境美化推進の一環として、通常収集していない粗大ごみ、家電4品目、タイヤ、農業用機械等の引取（有料）を行った。	大和町	町民研修センター 駐車場 南富吉団地内空地	6月9日	利用者500人
	環境美化行動の日	町内一斉清掃の実施。	大和町	町内全域	4月と10月の第3日曜日	町内に居住する住民及び事業所
富 谷 町	町広報紙掲載	分別収集・リサイクル関連記事掲載。	富谷町	富谷町全域	6月広報	全町民
	クリーン作戦	住民による町内一斉清掃	富谷町	町内全域	4月14日、10月20、27日	全町民
	身近な生きもの調査	町の自然環境の変化を把握するとともにして、住民一人ひとりが、環境の現状を肌で感じてもらえるようになることを目的として調査を実施し、普段から身の周りの生物に関心を持ち続け、生活スタイルを環境保全型に変えていくもの。	富谷町	町内	8月～10月	35人
大 衡 村	環境美化活動（資源回収）	あきカン・あきびん・新聞・雑誌・ダンボール・紙パック等を各家庭から回収し、回収業者に引き受けてもらう。 ※大衡村資源回収事業奨励金を実施団体へ交付する。（1kg=3円）	川向子ども会育成会 大瓜下子ども会育成会 大森子ども会育成会 衡上子ども会育成会 衡下子ども会育成会 衡東子ども会育成会	大衡村衡中行政区 大瓜下行政区 大森行政区 衡上行政区 衡下行政区 衡東行政区	6月2日 6月2日 6月2日 6月2日 6月16日 6月29日	26人 20人 19人 31人 22人 14人
中 新 田 町	町民総参加清掃デー	春、夏と年2回町民総参加で側溝の汚泥や土砂等を清掃し、環境清掃に努めている。	中新田町	町内一円	4月14日、8月4日	町民4,000人
小 野 田 町	町内一斉清掃の日	ごみ、空き缶拾い及び清掃。 対象施設 道路・側溝・公園・地区集会所周辺等	小野田町	町内全域	4月20日	各世帯1人 約2,000人
宮 崎 町	みやざきクリーン運動	年2回、「道路愛護デー」にあわせて実施。 道路沿いを中心に空き缶、空きびん等不法投棄物の回収運動を行った。	宮崎町、宮崎町公衆衛生組合連合会	町内全域	4月7日、9月2日	約1,600人
色 麻 町	道路清掃活動	各地区毎に道路の空き缶拾い、除草等を実施した。	色麻町道路愛護会	色麻町内	6月2日～23日、7月、8月	約2,130人
	河川清掃活動	町内の河川の清掃。	色麻町河川愛護会	町内の河川、堤防	7月	約1,800人
松 山 町	クリーンふるさと運動	道路・公共施設を清掃し、ポイ捨てによる空き缶・空き瓶等を地域住民で回収。	松山町 松山町公衆衛生組合	松山町内一円	5、6、8月	約300人
三 本 木 町	広報	一般廃棄物の減量化・再資源化の円滑な推進を図るため、町民への啓蒙。	三本木町		6月号掲載	全世帯2,423戸
	広報	循環型社会の新しいシステムで、ごみ減量とリサイクル推進への周知徹底。	三本木町		5月30日～6月10日	オフトーク設置世帯700戸
	広報	三本木町におけるごみ処理の現状についてのお知らせ。	三本木町		6月11日～20日	オフトーク設置世帯700戸
	広報	集団資源回収事業奨励金のお知らせ。	三本木町		6月21日～30日	オフトーク設置世帯700戸
	調査	ごみ減量化を目指す「買い物袋持参運動」についての町民の反応。今後の運動の基礎資料とする。	三本木町		6月3日～14日	全世帯2,423戸
	クリーン大作戦	町内の公共用地（主に道路沿い）などの周辺清掃。	三本木町公衆衛生組合連合会	町内全域	8月4日	2,300人
	ラブリバー大作戦	町内の河川敷清掃	三本木町	町内河川全域	3月23日	2,300人
鹿 島 台 町	町内クリーン作戦	空き缶・空き瓶拾い、清掃活動。	鹿島台町、鹿島台町公衆衛生組合連合会	鹿島台町内全域	6月（他8・11・3月）	4,200人
岩 出 山 町	環境美化運動	国道・県道沿いの清掃活動と花植え。	下宮子供会	岩出山町池月地区 国道・県道	5月18日	39人
	町内一斉清掃	道路等のポイ捨てごみなどの回収、側溝清掃	岩出山町、岩出山町公衆衛生組合連合会	町内全域	4月14日、11月17日	延べ5,000人
鳴 子 町	町内大掃除	春・秋の行楽シーズンの前に、国道・県道・町道・広場等にポイ捨てされたごみを回収する。	鳴子町、鳴子町公衆衛生組合連合会	町内全域	4月21日、10月20日	約3,000人×2回
田 尻 町	町内一斉清掃	町ぐるみで大掃除を実施し、病気の予防や衛生害虫の発生源防止に努める。	田尻町、田尻町公衆衛生組合連合会	町内全域	8月17日、18日	3,500人
小 牛 田 町	町内一斉清掃	各行政区ごとにゴミ拾い、除草、ごみの分別収集カゴの洗浄	小牛田町、小牛田町公衆衛生組合連合会	町内全域	8月第1日曜日（8/4）	約3,000人
南 郷 町	町内一斉清掃	町民参加による町内全域の一斉清掃（年3回）	南郷町、すばらしい南郷を創る協議会、南郷町公衆衛生組合連合会	町内全域	7月28日、11月24日、3月2日	約1,800人×3回
	鳴瀬川清掃	鳴瀬川堤内のごみ収集活動	南郷町スポーツ少年団	鳴瀬川内	10月12日	145人

注：網掛けは「環境の日」及び「環境月間」に実施したもの

市町村名	イベント等の名称	内 容	主 催 者	場 所	開催日時等	参加者数等
	大崎東部6町ごみ減量化・リサイクル推進大会	・小・中学生による標語、ポスターコンクールの実施・表彰 ・体験発表 ・講演会	大崎東部環境衛生事務組合、涌谷町、小田町、田尻町、南郷町、鹿島台町、松山町、大崎広域リサイクルセンター	鹿島台町鎌田記念ホール「ボルバル」	11月16日	325人
築 館 町	クリーンアップつきだて運動	春・秋に道端や周辺のゴミ・空き缶拾いを行う。	築館町、築館町公衆衛生組合連合会	町内全域	4月20日、9月7日	4月：2,348人 9月：2,278人
若 柳 町	町内一斉清掃	町内の景観美化を保持するため、町民全員参加を目指し、道路側溝等の清掃及び散乱ごみの回収を実施。	若柳町 若柳町公衆衛生組合連合会	若柳町内一円	6月16日、10月27日、3月16日	約3,000人（1回あたり約1,000人）
栗 駒 町	町民一斉清掃	町内の環境美化を推進するため、町内全世帯の参加により、ごみ、空き缶拾い、側溝の汚泥清掃を実施。	栗駒町、栗駒町公衆衛生組合連合会、栗駒町建設業協会	町内全域	4月20日、9月7日	約1,500人
	ごみのボイ捨て禁止運動	秋の交通安全運動と併せて、ごみボイ捨て禁止運動キャンペーンを実施（自動車等運転者にチラシ、ボールペンを配布）	栗駒町、栗駒町公衆衛生組合連合会、栗駒町交通安全協会	役場裏鶴丸通り（県道）	9月20日	約1,000人
高 清 水 町	町内一斉清掃	全世帯参加による清掃、除草	高清水町、高清水町公衆衛生組合連合会	町内全域	6月2日	1,000人
一 迫 町	一迫町健康まつり ごみ減量化アラカルト	ゴミ分別収集等のパネル展示と説明。	一迫町（後援：一迫町公衆衛生組合連合会）	一迫町活性化センター	6月2日	町民
	一迫町健康まつり クリーン作戦	地域に捨てられている空き缶拾いや道端の雑草の手入れなどを行政区毎に実施。	一迫町（後援：一迫町公衆衛生組合連合会）	一迫町内	6月2日	町民
	一迫町健康まつり 花いっぱい運動	地域において行政区内・花壇等の育成管理など、花いっぱい運動の実施。	一迫町（後援：一迫町花と緑のまち推進協議会）	一迫町内	6月2日	町民
	一迫町健康まつり 青空フリーマーケット	家庭で眠っている引き出し物・家電・ベビー用品・その他のリサイクル・フリーマーケット。	一迫町（後援：一迫町消費者の会）	一迫町活性化センター	6月2日	町民
瀬 峰 町	栗原地方公衆衛生大会	公衆衛生表彰とごみ減量化に関する講演及び展示。	栗原地方公衆衛生組合連合会 栗原食品衛生協会 栗原生活衛生組合協議会 栗原保健所（共催） 栗原地域広域行政事務組合	瀬峰町農村環境改善センター（テアリーホール）	6月27日	約250人
鶯 沢 町	環境美化ボランティア活動	町内幹線道路沿い等の空き缶、ごみ拾い等の清掃ボランティア活動	けぼの会	町内細倉地区	4月19日	約20人
	町内一斉清掃	町内全域の空き缶、ごみ拾い等の清掃	鶯沢町	町内全域	4月20日	約1,000人
	河川愛護	河川、堤防の草刈、清掃等	鶯沢町	町内の河川、堤防	7月7日	約1,000人
	道路愛護	町内道路、道路敷の草刈、ごみ拾い等の清掃	鶯沢町	町内全域の幹線道路	8月4日	約1,000人
	鶯沢町環境フェア	環境、ごみ減量化、省エネ・省資源等の普及啓発イベント 小・中学校「環境・リサイクル・ごみ減量化」の作品展示／牛乳パック紙漉体験／ペットボトル工作／リサイクルおもちゃ作成／エコクッキング紹介／エコカー（鶯沢工業高校生徒作品）／リフォーム展示会／生ごみ処理機展示・講習会／フリーマーケット／公共下水道接続普及啓発展示／その他	鶯沢町	細倉マインパーク	10月13日	約500人
	鶯沢町環境フォーラム	テーマ「水環境の保全活動の進め方について」 ・活動報告「小学校、中学校、高校における活動から」 ・基調講演「鉛川の水環境の現状と課題」 ・パネルディスカッション「水環境の保全活動の進め方について」 ・環境宣言	鶯沢町環境教育推進委員会	鶯沢町振興センター	12月1日	約300人
	鉛川の水環境学習	鶯沢中学校2年生が、宮城県環境対策課の指導で水温、水量、汚れ具合、水生物、湧水の状況、五感で感じた音や臭い、手で触った感じなどを調査した。	鶯沢中学校、鶯沢環境学習推進委員会	鶯沢町鉛川久保橋付近	9月13日	約50人
金 成 町	河川清掃	各地区（25行政区）ごとに河川の草刈り、投棄ゴミの収集。	金成町河川愛護会	金成町管理の河川	7月1日～31日	1,500人
	花壇植栽	道路沿線の環境整備（フラワーボット植栽管理）。	沿線事業所、沿線住民、中学校生徒等	町道	4月23日・7月19日	各160人
志 波 姫 町	町内一斉清掃	町民総参加による空き缶拾い及び道路・用排水路清掃。	志波姫町 波姫町衛生組合連合会	志波姫町内全域	3月・7月の第3日曜日	2,000人

注：網掛けは「環境の日」及び「環境月間」に実施したもの

第1節 市町村の取組

市町村名	イベント等の名称	内 容	主 催 者	場 所	開催日時等	参加者数等
迫 町	町内一斉清掃	町民の生活の場である私たちの町を健康で安全にしてより快適な生活環境にするため、地域住民一人ひとり盛り上げをもった全町的な一斉清掃を展開する。	迫町、迫町教育委員会 迫町公衆衛生組合連合会、すばらしいはさまを創る協議会	迫町内一円	6月7日、11月17日	7,265人
	伊豆沼・内沼クリーンキャンペーン	フムサル条約が結ばれている伊豆沼・内沼を野鳥飛来シーズンの前と後の2回、地域住民をはじめとする参加者により沼一帯の清掃を展開し、環境保全に努める。	迫町、迫町白鳥・ガン愛護会	伊豆沼・内沼	9月23日、3月23日	約3,500人
	花いっぱい運動	町内全域に年間を通じて花による風景づくりと地域づくりを推進し、美しい「はさま」を展開する。	すばらしいはさまを創る協議会	迫町内一円	年間	約8,000人
登 米 町	町内一斉清掃	町内一斉清掃	登米町、登米町公衛連、登米町内会連合会	町内全域	9月1日	1,590人（全戸）
	日根牛堤防清掃	日根牛堤防清掃	登米町、登米町公衛連	日根牛堤防・浄水場	3月16日	195人
東 和 町	東和町クリーン作戦	町内の道路、河川、公園等公共の場所又は施設の清掃奉仕活動等を実施	すばらしい東和をつくる協議会外	町内全域	8月13日、3月23日	約2,500人
中 田 町	町内一斉清掃	各行政区単位に地域を清掃。	中田町公衆衛生組合連合会	中田町内全域	6月23日、11月17日	3,000人
	「身近な環境を見つめる」講演会の実施	宮城県環境生活部次長 萩原なつ子氏を招き講演会を開催。	中田町公衆衛生組合連合会	中田町役場 大会議室	8月29日	約90人
豊 里 町	町民清掃の日	町内全域での清掃。	各地区町内会	町内全域	8月11日、12月15日	
石 越 町	環境クリーン作戦	環境美化運動の一環として小・中学校の児童・生徒・保護者による町県道・公園・公共施設等のゴミ・空き缶拾いを行政区単位（21行政区）で実施。	石越町 青少年健全育成協議会	石越町内一円	6月15日～8月10日	1,500人
	道路清掃の日	行政区内の町・県道及び公道路肩の草刈り、側溝の清掃などを実施。	石越町 石越町道路愛護会 石越町公衆衛生組合	石越町内一円	6月20日～8月10日	1,600人
南 方 町	春の清掃運動	清掃運動期間内に家屋内外の清掃と共に道路、公共施設及び不法投棄箇所、ごみ集積所の清掃、空き缶を回収した。	南方町 南方町公衆衛生組合連合会	南方町各行政区	5月27日～6月2日	各行政区
	環境パトロール	清掃運動後、各行政区毎、役員が集積所等を点検した。	南方町 南方町公衆衛生組合連合会	南方町各行政区	5月27日～6月2日	各行政区役員
	環境美化活動	2人1組となり4人ずつが10班に分かれて道路沿いのごみ拾いを行った	南方町公衆衛生組合連合会 ボランティアみなみかた	南方町内道路	5月21日	50人
河 北 町	かほくいいきいきウォーキング	ウォーキングをしながら自然観察や自然とのふれあい。	河北町 河北町ウォーキング教室実行委員会	志津川町神割崎	6月9日	89人
	花いっぱい運動	花壇への花植え作業を通して、町内の環境美化を推進。	河北町	国道、県道沿線、地区集会施設周辺	6月8日	800人
	海岸清掃	海水浴場の清掃活動。	クリーン白馬会	河北町長面海水浴場	6月16日	130人
	施設見学会	衛生処理センター（焼却処理施設）の施設見学。	河北地区衛生処理組合 河北町内5小学校	河北地区衛生処理センター	6月4日～10日	145人
	河北町ふれあい健康フェア	・リサイクル品バザー ・不法投棄禁止啓発	河北町、NHKエデュケーショナル	河北町総合センター	10月13日	3,000人
	クリーン作戦	年2回、町民総ぐるみで町内の国道、県道、町道沿いの清掃活動を実施した。	すばらしいかほくを創る協議会	町内全域	4月13日、9月21日	4月：1,886人 9月：1,635人
矢 本 町	町内一斉清掃	居住地周辺・道路側溝等の清掃、リサイクルステーションの清掃等。	公衆衛生組合81団体 矢本町	矢本町内全域	4月14日・7月7日	約8,000人
	大曲浜クリーン作戦	海岸（約3km）へ投棄された散乱ごみの回収。	青少年健全育成町民会議	矢本町大曲浜海岸周辺	7月7日	400人
	定川クリーン作戦	定川の清流を守るための河川清掃。	定川清流化推進協議会	定川周辺	7月14日	約500人
雄 勝 町	環境美化運動	美化行動の日を設定し、町内全地区一斉に地域内の清掃活動を実施。	雄勝町、雄勝町連合自治衛生会（町内各団体協賛）	雄勝町内全域	6月9日	1,500人
河 南 町	環境美化町民行動の日（環境美化運動）	環境美化に対し、町民に認識を深めてもらうために、道路・側溝・公園等での除草・草刈及び空き缶・空き瓶拾い等の清掃作業を実施した。	河南町 河南町衛生組合連合会	河南町内一円	6月2日	約3,400人
鳴 瀬 町	町内一斉清掃	町民一人一人が環境に対する意識を高めるために、公共施設の清掃・地域のごみ清掃を実施した。	鳴瀬町	鳴瀬町内全域	6月9日	1,800人
北 上 町	ビューティフルきたかみクリーン作戦	町民総ぐるみで海岸・河川・道路などの清掃活動を実施。	すばらしいきたかみを創る協議会外3団体	町内27地区で実施	6月16日	1,100人
	海岸清援隊	岩手県から宮城県までの北上川流域36市町村一般住民、児童生徒が、北上川河口の追波湾に漂着しているごみ等の清掃活動。	北上下流域市町村連携協議会	北上町月浜地内	11月9日	650人
女 川 町	クリーン作戦（春・秋）	散乱ごみの回収及び除草。	女川町	女川町内全域	6月2日、9月8日	約4,454人
	海岸・沿岸美化運動	町内離島半島地区（各漁協支部）の防波堤・岸壁周辺等における空き缶、ビニール等の回収。	女川町、女川町漁業協同組合	町内海岸、沿岸	9月6日～9月8日	483人

注：網掛けは「環境の日」及び「環境月間」に実施したもの

市町村名	イベント等の名称	内 容	主 催 者	場 所	開催日時等	参加者数等
牡 鹿 町	町内一斉清掃	町内全域において、行政区・各種団体が公共施設や道路周辺の除草及び散乱ごみの回収、側溝の清掃を実施する。	牡鹿町	牡鹿町内全域	8月1日	行政区各種団体約500人
	海浜清掃	町で指定している海水浴場の海開き前に、地元行政区・婦人会・地区内の小・中学生が砂浜の散乱ごみの回収や除草作業を実施した。	牡鹿町、行政区、地区内小・中学校	牡鹿町十八成浜海水浴場、網地白浜海水浴場	7月1日～15日	行政区、婦人会小・中学校、民宿組合約170人
志 津 川 町	不法投棄巡回パトロール	国・県・町道、山間等の不法投棄防止パトロール。	志津川町	志津川町内全域	6月中数回	環境対策室職員3人
津 山 町	ビューティフル津山クリーン作戦	町職員による国道、河川沿いの散乱ごみ、空き缶、空きビン拾い。道行くドライバーへのポイ捨て防止啓発も兼ねている。	津山町	国道45号沿い 北上河川敷	4月19日	50人
	地区一斉清掃	町内各行政区単位ごとに散乱ごみ、空き缶、空きビン拾いを行う。道行くドライバーへのポイ捨て防止啓発も兼ねている。	津山町	町内全域	4月28日	500人
本 吉 町	町内一斉清掃	町内全域を各地域ごとに一斉清掃を実施。	本吉町環境美化推進協議会、本吉町公衆衛生活動推進協議会	町内全域	6月、9月	約3,000人
	海岸清掃	地域の小中学校、PTAがそれぞれの地区の海岸を清掃。	本吉町立大谷小中学校、本吉町立小泉小中学校	大谷海岸、小泉海岸	6月、7月	約600人
唐 桑 町	町指定文化財九九鳴き浜清掃	収集したごみを分別し、九九鳴き浜から漁船で舞根漁港へ運び、ダンプトラック2台で気仙沼市のクリーンヒルセンターへ運び処分した。	唐桑町、唐桑町海友会、高松園、唐桑町教育委員会、漁業協同組合	唐桑町九九鳴き浜	6月26日、11月12日	計180人
	文化財愛護活動	町指定文化財九九鳴き浜清掃。学校と地域を通じた奉仕活動推進事業	唐桑町、唐桑町教育委員会、中井中学校、中井小鮎子ども会	唐桑町九九鳴き浜	9月8日	96人
歌 津 町	ふるさとの海に親しむ会	環境教育の一環として海の自然観察と周辺のごみ拾いを実施した。	名足小学校（協力：歌津町公民館）	歌津町中山海岸	6月27日	名足小児童165人
	森林のごみ一掃奉仕活動	森林に投棄された燃物、不燃物のごみの収集。	志津川歌津森林組合	歌津町小屋の沢、樋の口林道	6月5日	森林組合役職員10人
	浄化センター見学会	下水道処理場を一般に公開し、環境に対する理解を求めた。	歌津町上下水道課	歌津町下水道浄化センター	6月22日	一般町民160人
	浄化衛生器具展示会	環境にやさしい家庭用衛生器具等の展示による啓蒙普及。	歌津町上下水道課（関連機器メーカー協賛）	歌津町下水道浄化センター	6月22日	一般町民160人
	シーサイド・クリーン作戦	長須賀海水浴場の一斉清掃等を実施。	泊浜契約会、民宿組合他	歌津町長須賀海岸	6月 28日～30日	会員等120人
	名足小PTA奉仕作業	空き缶拾い、側溝掃除等。	名足小学校PTA	名足小学校校地内及び周辺	6月2日	PTA会員142人
	進め！クリーン作戦	空き缶拾い、側溝掃除等。	伊里前小学校	校地及びその周辺	6月25日	児童32名
	生徒会クリーン作戦	空き缶拾い、側溝掃除等。	歌津中学校	校地及びその周辺	5月24日	中2生徒65名
	クリーン作戦	道路・河川の清掃。	道路・河川愛護会	歌津町内主要道路、河川	6月1日～10月31日	地区住民
	中学生植樹	環境情操教育の一環として実施。	歌津中学校	中学校通学路	6月14日	中2生徒65名
	快適環境美化推進大会	環境問題は、私たちの生活に関係していることを認識し、郷土の自然環境をいつまでも残すために町民一人ひとりが身近な活動を考えて、実践するために開催する大会。 1 実践活動の発表 2 活動者表彰 3 講演	歌津町、歌津町快適環境美化推進委員会、歌津町公衛連	歌津町平成の森アリーナ	1月25日	150人

（※）中新田町・小野田町・宮崎町は、平成15年4月1日から合併により加美町となった。
注：網掛けは「環境の日」及び「環境月間」に実施したもの

表3-1-13 環境保全に関する冊子等の作成状況

刊行物等の名称	発行元	種類	発行頻度
プラスチック製容器包装収集地域説明会用リーフレット（平成14年4月からプラスチック製容器包装の分別収集がスタートします）	仙台市	リーフレット	－
ごみ減量・リサイクルハンドブック	仙台市	パンフレット	－
環境の日ポスター	仙台市	ポスター	年に1回
環境学習ガイド	仙台市	冊子	必要に応じて
かんきょうチャレンジコンクール作品集	仙台市	冊子	年に1回

刊行物等の名称	発行元	種類	発行頻度
仙台市の環境 平成13年度実績報告書	仙台市	(本編) 冊子 (概要版) パンフレット	年に1回
リーディングエコプランせんだい(仙台市環境率先行動計画)の平成13年度実績に係る環境報告書	仙台市	(本編) 冊子 (概要版) パンフレット	年に1回
みんなでつくる緑の街	仙台市	パンフレット	年に1回
街路樹マップ	仙台市	マップ	必要に応じて
仙台市の環境情報	仙台市	リーフレット	年に1回
環境学習パートナーズリスト	仙台市	冊子	必要に応じて
地球温暖化防止の大作戦(市民用、事業者用)	仙台市	パンフレット	不定期発行
公害関係資料集	仙台市	冊子	年に1回
サウンドボエム・サウンドイラストコンクール入賞作品集	仙台市	冊子	年に1回
街に自然エネルギーがやってくる	仙台市	パンフレット	年に1回
太陽博士のソーラーズクール	仙台市	CD-ROM	必要に応じて
建物を緑で飾りませんか	仙台市	パンフレット	必要に応じて
エコひいきに暮らしませんか!	石巻市	冊子	必要に応じて
ひとめでわかる石巻の環境	石巻市	冊子	年に1回
石巻の環境(資料編)	石巻市	冊子	年に1回
塩竈市の環境	塩竈市	冊子	年に1回
ごみの出し方虎の巻	塩竈市	冊子	必要に応じて
生活ごみ収集日程表	塩竈市	カレンダー	年に1回
塩竈市環境基本計画	塩竈市	冊子・パンフレット	—
古川市の環境	古川市	冊子	年に1回
地球温暖化防止に関する古川市役所率先実行計画の評価	古川市	冊子	年に1回
気仙沼市のかんきょう	気仙沼市	冊子	年に1回
広報「しろいし」	白石市	冊子	毎月
ごみの分別・出し方ガイドブック	白石市	冊子	必要に応じて
なとりの環境	名取市	冊子	年に1回
リサイクル16分別とごみ2分別の出し方	名取市	パンフレット	必要に応じて
よくわかる! ゴみの分別と出し方	角田市	冊子	必要に応じて
環境問題学習テキスト「エコ博士のおらほの環境」	多賀城市	冊子	年に1回
私たちの住む地球とまわりの様子	岩沼市	冊子	必要に応じて
ごみの正しい出し方	岩沼市	パンフレット	年に1回
ごみの分別と出し方	蔵王町	ポスター	年に1回
ごみの分別と出し方	七ヶ宿町	ポスター	必要に応じて
朝のひとはき運動	村田町、村田町環境美化促進会、村田町公衆衛生組合連合会	リーフレット	年に1回
ゴミ分別・収集カレンダー	村田町、村田町環境美化促進会、村田町公衆衛生組合連合会	カレンダー	年に1回
身近な生きもののマップ	柴田町	パンフレット	年に1回
ごみの出し方とし尿処理	柴田町、柴田町公衆衛生組合	カレンダー	年に1回
ごみ収集カレンダー	川崎町	カレンダー	年に1回
ごみの分別と出し方	川崎町	リーフレット	年に1回
ごみの分け方・出し方	丸森町	冊子	年に1回
ごみ収集カレンダー	丸森町	ポスター	年に1回
家庭ゴミの正しい分け方と出し方	山元町、山元町公衆衛生組合連合会、亘理名取共立衛生処理組合	ポスター	年に1回

刊行物等の名称	発行元	種類	発行頻度
山元町ごみ収集日程表	山元町、山元町公衆衛生組合連合会	ポスター	年に2回
色別ゴミ出しカレンダー	七ヶ浜町	カレンダー	年に1回
ごみの分別と出し方	利府町	ポスター	年に1回
ごみカレンダー	利府町	カレンダー	年に2回
ごみ収集計画表	大和町	ポスター	年に1回
広報たいわ	大和町	冊子	年に12回
臨時粗大ゴミ引取について	大和町	パンフレット	年に2回
ゴミ収集カレンダー	中新田町	カレンダー	年に1回
家庭ごみの出し方	中新田町	ポスター	年に1回
ゴミ収集カレンダー	小野田町	カレンダー	年に1回
家庭のごみの出し方	小野田町	ポスター	年に1回
ゴミ収集カレンダー	宮崎町	カレンダー	年に1回
家庭ごみの正しい分け方、出し方	宮崎町	冊子	年に1回
ゴミ収集カレンダー	色麻町	カレンダー	年に1回
家庭ごみの出し方	色麻町	ポスター	年に1回
ゴミ収集カレンダー	松山町	ポスター	年に1回
家庭ごみの出し方	岩出山町	ポスター	年に1回
家庭ごみの出し方	六の国環境衛生組合	ポスター	年に1回
家庭ごみ収集カレンダー	南郷町	チラシ	年に1回
一般廃棄物、リサイクル収集日程表	築館町	カレンダー	年に1回
ごみ収集日程表	栗駒町	カレンダー	年に1回
ごみ分別収集日程表	高清水町	カレンダー	年に1回
ごみ収集カレンダー	瀬峰町	ポスター	年に1回
鶯沢町環境基本条例のあらまし	鶯沢町	パンフレット	—
家庭ごみ収集カレンダー	鶯沢町	ポスター	年に1回
環境だより	鶯沢中学校	リーフレット	年に6回
鶯小エコ通信	鶯沢小学校	リーフレット	年に4～5回
ごみ分別・収集カレンダー	金成町、金成町公衆衛生組合連合会	リーフレット	年に1回
広報やもと	矢本町	冊子	毎月
ごみ収集カレンダー	鳴瀬町	カレンダー	年に1回
広報なるせ	鳴瀬町	冊子	毎月
ごみの出し方と分け方	鳴瀬町	ポスター	年に1回
おながわ町民カレンダー	女川町、女川町教育委員会	カレンダー	年に1回
生涯学習、保健カレンダー「みでけらいん」	牡鹿町、牡鹿町教育委員会	カレンダー	年に1回
家庭のごみの出し方	志津川町、志津川歌津環境衛生組合	パンフレット	不定期発行
資源物・燃やせないごみ収集カレンダー	志津川町、志津川歌津環境衛生組合	パンフレット	年に1回
家庭ごみの出し方	本吉町	ポスター	不定期発行
広報もとよし	本吉町	冊子	年に12回
唐桑町公衛連だより	唐桑町、唐桑町公衆衛生組合連合会	チラシ	年に3回
家庭ごみの出し方	歌津町、志津川町、志津川歌津環境衛生組合	リーフレット	年に1回
ごみ収集処理計画表	歌津町、志津川町、志津川歌津環境衛生組合	チラシ	年に1回
資源物・燃やせないごみ収集カレンダー	歌津町、志津川町、志津川歌津環境衛生組合	カレンダー	年に1回

(※) 中新田町・小野田町・宮崎町は、平成15年4月1日から合併により加美町となった。

6 市町村の取組に対する県の支援制度等

県では、市町村の環境保全に関する取組に対して、各種の支援制度等を設けている。

表3-1-14 市町村の取組に対する県の支援制度等

制度等名称	制度等概要	課室名
みやぎエコファクトリー形成推進計画策定事業費補助金	循環型社会の形成を促進するため、地域の特性や実情に即した環境・リサイクル産業の集積を目指す市町村が行う環境・リサイクル産業団地の整備に必要なみやぎエコファクトリー形成推進計画策定事業に要する経費について、当該市町村に対し補助金を交付する。 補助率＝1／2 補助対象事業費上限額＝5百万円	資源循環推進課
宮城県合併浄化槽設置推進事業費補助金	国庫補助を受けて合併処理浄化槽設置整備事業を実施する市町村（仙台市を除く）に対して、「宮城県合併処理浄化槽設置推進事業補助金交付要綱」に基づき、市町村が合併処理浄化槽の設置者に補助する経費の1／3を補助する。	廃棄物対策課
ごみ処理広域化計画推進事業費	宮城県ごみ処理広域化推進計画の推進とダイオキシン類排出規制強化に対する円滑な対応を図るため、市町村又は一部事務組合が実施するごみ処理施設整備に要する経費について、当該市町村等に対し、新設の場合1／2以内（1億円限度）、改造の場合1／3以内（5千万円限度）を補助する。	
食品リサイクル推進モデル整備事業	食品産業等の事業者から排出される食品廃棄物等を効率的に収集・処理し、高度利用を図るため、先端技術を取り入れたリサイクル施設、農業分野での利用とエネルギー分野での利用を組み合わせたリサイクル施設及び地域における一体的なリサイクルを推進するための先進的な食品循環資源高度利用施設の整備（既存の施設の再整備に伴う整備を含む。）に対して1／2を限度に助成を行う事業。【農林水産省国庫補助事業】	食産業・商業振興課
バイオマス利活用フロンティア推進事業（食品廃棄物関連対策）	地域におけるバイオマス利活用に関する計画策定、実用化に関する調査・実証、システム構築等をバイオマスの種類に応じて総合的に実施し、バイオマスの有効活用を促進し、もって環境と調和のとれた循環型社会の構築を図る事業に対して1／2を限度に助成を行う事業。【農林水産省国庫補助事業】	
宮城県商店街創成支援事業	地域住民の多様なニーズに対応できる商店街づくりを通じて商店街の活性化を図るため、商店街団体等が行う一般公衆の利便に寄与する施設の導入に要する経費について、市町村が当該団体に助成する場合に、県が市町村に対して助成するもの。	